

資 料 編

資料編 目次

第1 市域の自然的・社会的条件

1 岩倉市地形分類図	436
2 重要水防箇所	437
3 大量危険物保有事業所	437
4 高層建築物	438

第2 災 害

1 台 風	
(1) 台風の大きさと強さの分類	439
(2) 東海地方に影響のあった主な台風	440
(3) 東海地方に影響のあった主な台風（進路図）	443
2 大 雨	
(1) 過去の主な風水害	445
(2) 愛知県予報区における細分区域図	457
(3) 気象・水象に関する予報警報	457
(4) 木曾川洪水予報警報	459
(5) 水防警報	460
(6) 被害区域想定図（木曾川）	461
(7) 被害区域想定図（入鹿池）	462
(8) 岩倉地内の過去の災害	463
(9) 岩倉市内の最近の災害記録	463
(10) 伊勢湾台風による岩倉地内の被害	464
3 地 震	
(1) 南海トラフ地震による震度分布図	465
(2) 濃尾地震による震度分布図(平成7年度岩倉市基礎調査結果)	466
(3) 濃尾地震による震度分布図（平成27年度岩倉市基礎調査結果）	467
(4) 中部日本の地形概要と活断層	468
(5) 濃尾地震による震烈波動線断層	469
(6) 気象庁震度階級表	470
(7) マクニチュード（M）と震度の程度	472
(8) 過去の主な地震	473
(9) 濃尾大地震による岩倉地内の被害	473
(10) 愛知県で震度4以上を観測した地震	474

第3 災害対策本部

1 標識等	
(1) 本部の標示板	478
(2) 腕章	478
(3) 旗	479
(4) ヘルメット	479

第4 防災上必要な施設・設備等

1 消防施設・設備等	
(1) 保有消防力	480
(2) 耐震性防火水槽	481
(3) 管区別水利状況	482
2 通信・設備等	
(1) 消防用無線局配置表	483
3 避難場所	
(1) 岩倉市指定緊急避難場所一覧	484
(2) 広域避難場所一覧表	486
(3) 避難施設及び収容人員一覧表	487
4 救急施設・設備等	
(1) 救急病院	489
(2) 市の医療施設	489
5 救出用資材一覧表	489
6 市所有車両	491
7 ヘリポート可能箇所	491

第5 必需物資の備蓄及び調達、応急仮設住宅等

1 食品及び生活必需品	
(1) 防災備蓄倉庫所在地一覧	492
(2) 物資備蓄・調達状況	492
2 応急仮設住宅等	
(1) 応急仮設住宅の建設場所及び建設可能戸数	494
(2) 災害廃棄物仮置き場	494
(3) 救助活動拠点候補地	494
(4) 物資拠点候補地	494

第6 浸水想定区域内にある要配慮者施設	495
---------------------	-----

2 重要水防箇所

(注) 表中、重要度欄のBは、水防上重要な区間をいう。

[], () 書きは、それぞれ重複箇所およびその延長を表す。

位置欄の数値は、河口からの距離を表し、例えば、7.8 K+86は7.886 mのことである。

一宮建設事務所管内

番号	水系名	河川名	位置	左右岸別	地名	延長(m)	重要度	理由	摘要(水防工法)
1	庄内川	五条川	8.8K~10.2K +50 +120	右	岩倉市川井町から一宮市五日市場(広瀬橋下流80mから青木川合流点まで)	1.470	B	堤防強度不足	(")

3 大量危険物保有事業所

事業所名	所在地	危険物		電話番号
		種別	数量	
ミヨシ油脂株式会社	野寄町西出1366	第4類 特殊引火物	86,400ℓ	37-5111
		" 第1石油類	21,200ℓ	
		" アルコール類	11,100ℓ	
		" 第2石油類	54,800ℓ	
		" 第3石油類	483,428ℓ	
		" 第4石油類	167,675ℓ	
		" 動植物油脂	2,000ℓ	
三興石油株式会社	大地町深田362-17	第4類 アルコール類	13,600ℓ	37-2195
		" 第2石油類	39,800ℓ	
		" 第3石油類	185,100ℓ	
		" 第4石油類	144,380ℓ	
石塚硝子株式会社	川井町1880	第1類	16,249 kg	37-2111
		第4類 第1石油類	2,920ℓ	
		" アルコール類	1,000ℓ	
		" 第2石油	654,200ℓ	
		" 第3石油類	1,106,000ℓ	
		" 第4石油類	9,500ℓ	

4 高層建築物

名 称	所 在 地	階 数
エ ス ポ ア 岩 倉	下本町真光寺44番地2	11
グ ロー リ ア ス 岩 倉	中本町西出口69番地1	11
m e L i v 岩 倉	本町一丁目27-2	11
ア メ ニ テ イ 岩 倉	栄町二丁目3番地	12
ユ ー ハ ウ ス 岩 倉	栄町一丁目116番地	12
プ レ ミ ア シ テ ィ 岩 倉 駅 前	栄町二丁目25	12
コ ー プ 野 村 岩 倉 壺 番 館	新柳町一丁目35番地3	13
野 村 ス テ イ ツ 岩 倉 五 条 川	下本町天神塚38番地1	13
サ ン ク レ ー ア 岩 倉	下本町下市場147-1	13
グ ロー リ ア ス 岩 倉 II	栄町一丁目86番地	14
サ ン ハ ウ ス 岩 倉 駅	栄町一丁目95番地	14
ヒ ュ ー マ ン ア イ ラ ン ド A 棟	新柳町一丁目35番地1	14
フ ァ ミ ー ル 岩 倉	下本町真光寺4番地1	14
プ ラ ウ ド 岩 倉	下本町下市場136番地2	15
フ レ ス ト シ テ ィ 岩 倉	中本町西出口69番地	15
プ ラ イ ム マ ウ ン テ ィ ン 岩 倉 駅 前	下本町下市場97番1	15
サ ク ラ ン ド 岩 倉 N O R T H 棟	本町神明西20番地	17

第2 災 害

1 台 風

本市に大きな風水害を与えるものは台風であり、そのほとんどが9月に集中している。台風による災害は、その暴風の風圧と大雨による水害がある。また雨の少ない台風では塩風害や乾風害の起こることもある。

風速 25m/s をこえると、建物等にかなりの被害があらわれ、さらに 30m/s をこえるようになると広範囲に大被害が生ずるようになる。昭和 36 年の第 2 室戸台風の際の県下の最大風速は 25m/s ～30m/s であったが、この程度の風速をこえると今度は一挙に伊勢湾台風級の災害になる。第2室戸台風級の風速は風による大被害のボーダーラインと考えてよい。

尾張地方に対して最も強い風速になる台風のコースは名古屋の西約 50km～100km の間を南西～南南西から北東～北北東に向かって進むコース（紀伊半島の南部から北東～北北東へ進み三重県、滋賀県の県境付近と滋賀県西部との間をとるコース）のとき南東の風が最も強くなる。

台風が南方海上にあらわれると、日本付近にある前線が活発になり、その北側に大雨を降らせる。

さらに台風が接近すると、台風自体のうず巻によるしゅう雨性の雨が降るようになる。

前述のように台風が県の西方を通るときは、県下全体が台風の右半円にはいり、特に強いしゅう雨性の雨が降るが、なかでも北東山岳方面では地形性降雨が激しい。また台風が南方から東方へ抜ける場合には県下全般にほぼ一様な大雨に見舞われる。

(1) 台風の大きさと強さの分類

大きさの表現

階 級	風速 15m/s の半径
〈表現なし〉	500km 未満
大型：(大きい)	500km 以上～800km 未満
超大型：(非常に大きい)	800km 以上

強さの表現

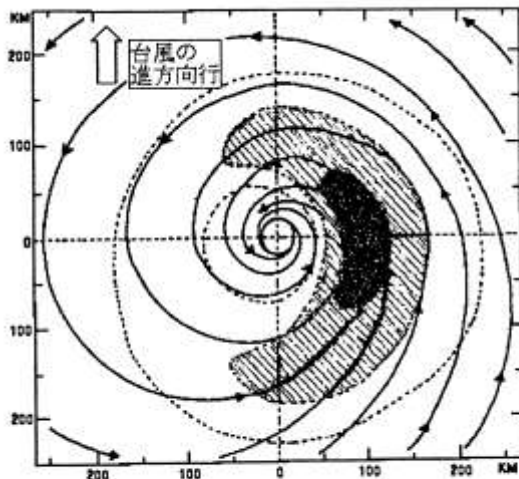
階 級	最 大 風 速
〈表現なし〉	17m/s(34 ノット)以上～33m/s(64 ノット)未満
強 い	33m/s(64 ノット)以上～44m/s(85 ノット)未満
非常に強い	44m/s(85 ノット)以上～54m/s(105 ノット)未満
猛 烈 な	54m/s(105 ノット)以上

台風の風

台風は巨大な空気の渦巻きで、地表付近では反時計まわりに強い風が吹き込んでいます。風の強さは台風を中心に向かう程強くなり、台風の眼の中では急激に弱くなります。

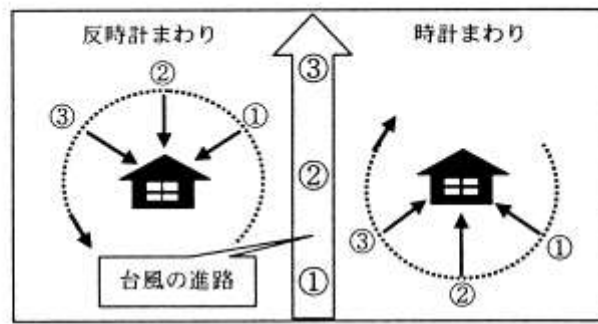
移動中の台風では進行方向の右側でより強い風が吹いています。

台風の移動に伴い、進路の右側では時計まわりに、左側では反時計まわりに風向が変化します。



台風周辺の風の流れと風速の分布

陰影部:風が特に強い領域



台風の進路と風向の変化

(2) 東海地方に影響のあった主な台風

1 昭和9年9月21日の室戸台風

この台風は、風速 20km ぐらいで海上を進んで 19 日夜沖縄南方に近づいた。ここで北東に転向、四国沖を進んで 20 日夜半過ぎ室戸付近へ非常に強い大型台風として時速 60km で上陸した。上陸後は徳島の西方淡路島、神戸市、和田岬、深紅の北方宝塚池田付近敦賀の西方を通過したのち、速度は 70~90km に速まったが、勢力は衰えながら本州を縦断して宮古付近から三陸沖へ去った。

2 昭和28年9月25日の台風第13号

この台風は、トラック島南東方 150km の海上に発生し西から次第に北西に進んで 22 日夜沖の島島の西方洋上で急速に発達して猛烈な大型台風になった。

この辺から四国沖へ向け北上し 25 日 17 時過ぎに志摩半島を横断毎時 40km ぐらいの速さで伊勢湾を経てカムチャッカ半島へ去った。

3 昭和34年9月26日の伊勢湾台風

この台風は、エニウエトック島の西 250km の海上に発生した弱い熱帯低気圧が発達したもので、台風として認められたのは、9月21日 15° N 150° E 付近に達した頃からである。それが 9月23日マリアナ諸島で中心気圧が 894hpa に発達して超大型台風になり、北上して 9月26日夜紀伊半島上陸後まで勢力があまり衰えなかった。

台風の本邦上陸に当り風速の最大区域が台風中心経路の東側 70km 付近の志摩半島東部から伊勢湾にかけて舌状にのびていた。これにより伊勢湾に記録的な高潮が発生した。

4 昭和36年9月16日の第2室戸台風

マーシャル諸島付近で発生した弱い熱帯低気圧が、9月8日15時に台風第18号となった。12日朝にはマリアナ群島の南西海上で 900hpa 以下の超大型台風に発達し、14日夜半沖縄の東側でゆっくり転向し、16日朝には四国南海上から室戸岬をかすめて大阪湾に向かい同日13時30分頃尼ヶ崎と西ノ宮の間に上陸した。その後15時頃敦賀付近に進んだ。

台風の規模も進路も昭和9年の室戸台風に似た台風であった。

5 昭和 37 年 7 月 27 日の第 7 号

この台風は、硫黄島の東方およそ 1,500km の海上に発生したもので、発生地が非常に北東にかたよっていた。

発生後 1 日は、ほぼ北上、2 日目が西進して 27 日四国南東海上で転向、潮岬と白浜の間に 27 日 13 時ごろ上陸して、東海道西部、関東北部を通過して三陸沖に去った。海上を進行中は 965hpa ぐらいの中心気圧の中型の規模だったが上陸後に急に衰え、28 日には早くも、1,000pha の熱帯低気圧になった。

6 昭和 37 年 8 月 26 日の台風第 14 号

この台風は、8 月 21 日 9 時マリアナ諸島の海域で発生した。硫黄島付近に掛かった頃には中心気圧 950hpa になり、にわかには注目されるようになったが、いわゆる夏台風特有の小型であった。小笠原諸島の父島西方を過ぎる頃から向きを北に変え、そのまま中部日本に向かって北上した。26 日の 4 時頃中心が三重県の北牟婁郡中島付近に上陸し、その後も真すぐに北上し琵琶湖付近を通過して日本海へ抜けた。

7 昭和 46 年 8 月 30 日～31 日の台風第 23 号

この台風は、8 月 21 日 9 時、南鳥島の南西に発生しゆっくり北西のち西北西に進み、28 日朝、奄美大島の南東方に達した。

この頃から、移動速度が更に遅くなり急に発達しはじめ屋久島付近を通過する頃中心気圧は 915hpa に低下した。

29 日夜半頃大隈半島（佐多岬）に上陸し、四国から大阪付近、三重県南部を通り 31 日昼頃伊良湖岬をかすめて東方へ去った。

8 昭和 47 年 9 月 16 日の台風第 20 号

この台風は 9 月 13 日 12 時、沖の鳥島の南 500km に発生した。ゆっくり北西に進み、沖の大東島の南海上で転向し進行方法を北～北北東に変えた。一方 15 日 15 時には低気圧が朝鮮半島北部の元山沖約 400km にあり、閉そく前線が南東にのびて、愛知県付近に達し、愛知県では、この前線の影響により 15 日朝から降雨が強くなった。

台風は、16 日 18 時 30 分頃潮岬付近に上陸した。その後、紀伊半島を縦断し、三重県を経て、岐阜県西部を通り 17 日朝 5 時には佐渡付近に達し午後には北海道西岸に達した。

9 昭和 54 年 9 月 31 日～10 月 1 日の台風第 16 号

9 月 23 日 15 時ヤップ島の北西海上で台風となった台風第 16 号は発達しながら北西に進み、26 日の朝には沖縄の南南東の海上で中心気圧 920hpa となり、最盛期を迎えた。26 日の昼頃から速度を落としながら北向きにコースを変え、29 日 15 時には奄美大島の東海上に達した。台風はこの頃からさらに向きを北東に変えながら次第に加速し、30 日 18 時 30 分頃高知県室戸付近に上陸（955hpa）した。23 時頃大阪市に再上陸（965hpa、大型・並の強さ）、岐阜市の北を通過して本州を北東に縦断し、10 月 1 日 9 時には八戸沖へ抜けた。

10 昭和 54 年 10 月 19 日の台風第 20 号

10 月 6 日 15 時トラック島の東で台風となった。台風第 20 号は 8 日の朝から北西に進み始め、9 日夜グアム島の南海上を通過した頃から急速に発達、12 日 15 時には沖ノ島の南南東約 400km の海上で中心気圧 870hpa を観測、最盛期（大型、猛烈な台風）となった。台風はその後ゆっくりした速さで西北西に進み 16 日早朝から北北西に向きを変え、18 日 9 時には沖縄の南約 150km の海上に達した。

台風はこの頃から次第に北東へ向きを変えながら加速し、19日9時40分頃和歌山県白浜付近に上陸(965hpa、大型・並の強さ)、名古屋市をすぐ西を通って本州を北東に縦断し、19時には八戸沖へ抜けた。

11 平成2年9月19日～20日の台風第19号

グアム島の北西海域で発生した弱い熱帯低気圧は9月13日台風第19号となり、発達しながら北西に進み、16日から17日にかけて、ゆっくり沖縄の南東海上に近づき、急激に発達した。17日午後には中心気圧890hpaを記録し、猛烈な台風となった。その後、台風は北東進し、950hpa以下の勢力を保ったまま、19日20時過ぎ和歌山県の白浜の南に上陸した。上陸後速度を上げて近畿地方から東海地方を通り、本州を縦断し、20日12時には三陸沖に抜けた。

12 平成3年9月18日～19日の台風第18号

台風第18号は18日、沖縄の東沖を加速しながら北東進。それに伴い本州海岸の秋雨前線の活動が活発となった。台風は翌19日夕方、八丈島の南を通り、夜には銚子沖に達し、20日早朝三陸沖で温帯低気圧となった。このため、東海地方を含め、太平洋岸各地では記録的な大雨とな、被害は東海地方から東北地方の16都県に及んだ。愛知県では、既に18日午前中全域雨となり、夜半過ぎから所々激しく降り、18日・19日にかけて100～300ミリの大雨となった。名古屋では19日の雨量217.5ミリを観測し、これは累年第2位の記録となった。

13 平成6年9月20日～30日の台風第26号

9月19日3時にグアム島の南西海上で台風となった第26号は、発達しながら概ね北に進路をとり、29日19時半頃大型で強い勢力を保ったまま和歌山県南部に上陸した。上陸時の中心気圧は950hpa、中心付近の最大風速は40m/sであった。上陸後は勢力を弱めながらやや速度を速め、琵琶湖付近を通って30日3時には石川県沖に進んだ。

この台風の影響により、東部の山間部では総雨量が200ミリを超えた。

14 平成10年9月21日～23日の台風第7号と台風第8号

9月17日21時にフィリピンの西の海上で発生した台風第7号は、徐々に発達しながら南西諸島の東海上を北東進した。また、台風第8号は9月20日に日本の南海上で発生し、北上した。

日本への上陸は第8号のほうが早く、21日16時前に和歌山県田辺市付近に上陸し、翌日の22日13時過ぎには第7号が和歌山県御坊市付近に上陸した。

第8号の上陸時の勢力はごく小さく、弱いものであったが、21日夜に一時風雨が強くなった。第8号は強い雨が顕著で、東部の山間部では21日の21時から23時にかけて、1時間に40～60mmの激しい雨が降った。

一日遅れて上陸した第7号は、中型で、強い勢力を保って22日15時頃に滋賀県をとおり、北陸へ向かった。台風が愛知県の西を強い勢力で進んだことから、県内では南寄りの暴風が吹き荒れ、名古屋では最大瞬間風速、南南東の風42.6m/sを観測した。この値は昭和34年の伊勢湾台風時に観測した45.7m/sに次ぐ観測開始以来第2位の記録となった。

15 平成12年9月11日～12日の台風第14号

サイパン島の東海上にあった熱帯低気圧は、9月2日21時に台風第14号となった。10日09時には南大東島の東南東の海上に達し、大型で非常に強い勢力に発達した。一方、9月11日から12日にかけて、日本付近には秋雨前線が停滞しており、この前線に向かって台風第14号からの暖かく湿った空気が多量に流れ込んで活動が活発となり、愛知県を中心とした東海地方で記録的

な大雨となった。

愛知県では県西部を流れる「新川」の堤防が決壊したのをはじめ、河川の破堤は 20 箇所に達したほか、名古屋市内では広範囲に浸水被害が発生した。

この大雨で、名古屋地方気象台が観測した日最大 1 時間降水量 97.0mm、日最大降水量 428.0mm、月最大 24 時間降水量 534.5mm は、いずれも統計開始以来最も多い値となった。

台風は、12 月 19 時過ぎには沖縄を通過し、東シナ海で向きを北寄りに変え、九州の西海上を北東に進んで朝鮮半島に上陸した。その後、日本海に進み 16 日 15 時には日本海西部で温帯低気圧となった。

16 平成 21 年 10 月 8 日の台風 18 号

台風 18 号は強風とともに猛烈な雨をもたらした。上陸前の 10 月 5 日午前 6 時から上陸後の 8 日午後 12 時までの東海地方における降水量は愛知県東海市で 220.5mm を記録した。知多市では国道 155 号の東橋が出水により崩落するなどの被害が出た。

17 平成 23 年 9 月 20 日～21 日の台風 15 号

9 月 13 日に発生した台風 15 号は南大東島の西海上をゆっくり反時計回りに円を描くように動いた後、最大風速が 50m/s の非常に強い台風となり速度を速めつつ紀伊半島に接近した後、9 月 21 日 14 時ごろに静岡県に上陸し、強い勢力を保ったまま東海地方から関東地方、そして東北地方を北東に進んだ。

東海地方ではこの台風の接近に伴い秋雨前線の動きが活発化し、9 月 20 日午後を中心に東海豪雨（平成 12 年 9 月）時と類似した気圧配置パターンとなり、鈴鹿山脈や伊吹・関が原方面から流れ込む北西の風と台風の暖湿流がぶつかりあって、名古屋市内から岐阜・東濃にかけてライン状の非常に発達した雨雲が発生・停滞したため局地的な豪雨となり、庄内川や豊川では浸水被害が発生した。

（注）平成 4 年 12 月 1 日、気象庁は台風情報等に用いる気圧の単位を hPa（ヘクトパスカル）に変更した。1mb = 1hPa であることから、従来の mb（ミリバール）との換算は必要なく、単位を読み替えることのみで、旧来の資料等は使用することができる。

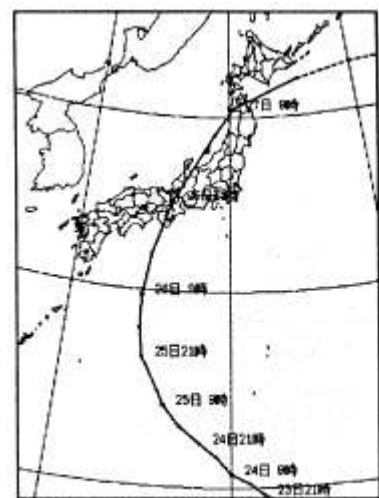
(3) 東海地方に影響のあった主な台風（進路図）



昭和9年9月の室戸台風
(○印は06時の位置)



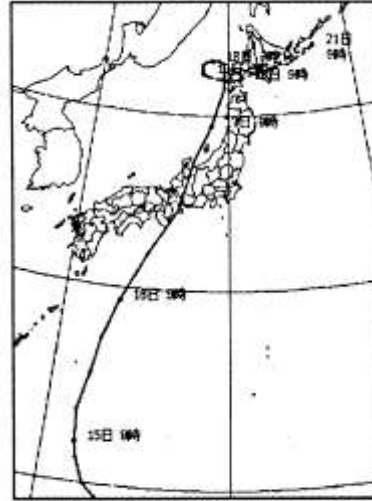
昭和28年9月の台風第13号



昭和34年9月の伊勢湾台風



昭和46年8月の台風23号
昭和36年9月の第2室戸台風



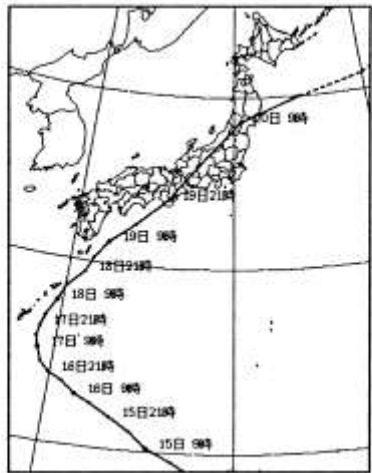
昭和47年9月の台風第20号
昭和37年7月の台風第7号



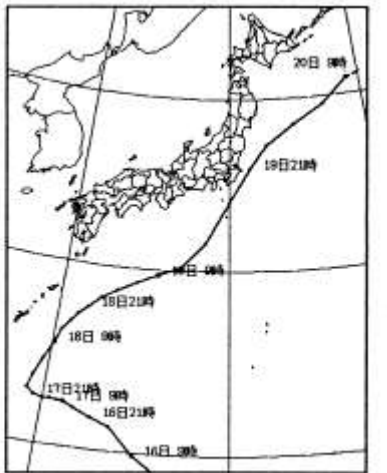
昭和54年9月の台風第16号
昭和37年8月の台風第14号



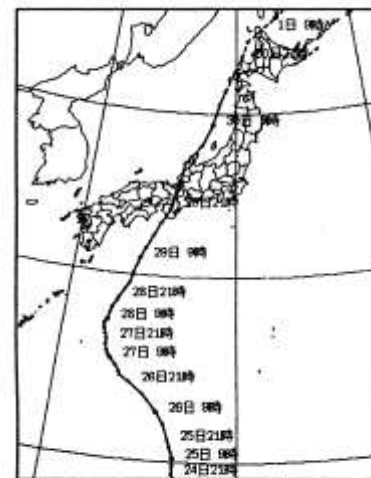
昭和54年10月の台風第20号



平成2年9月の台風第19号



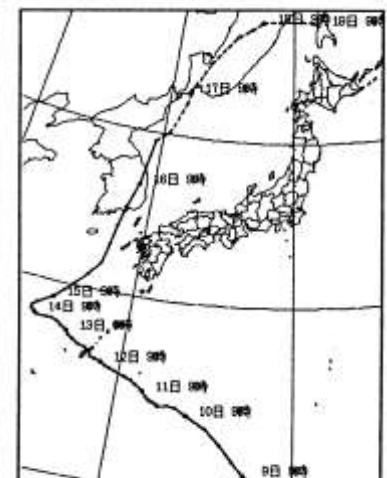
平成3年9月の台風第18号



平成6年9月の台風第26号



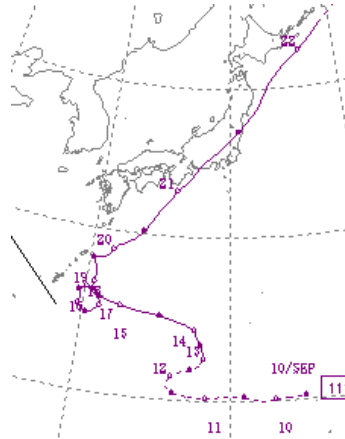
平成10年9月の台風第7・8号



平成12年9月の台風第14号



平成 21 年 10 月の台風 18 号



平成 23 年 9 月の台風 15 号

2 大雨

水害を起こす大雨は、台風と梅雨期のものが最も多い。

台風の大雨については前述のとおりであるが、勢力が弱い台風でも、前線の雨と重なると雨量は極めて多くなることがあるので注意を要する。

梅雨期の大雨による水害は、台風にとまなう大雨による水害とほぼ同様の頻度で発生している。梅雨期の大雨は梅雨あけに近い末期におこることが多く、梅雨末期の豪雨とよばれる。梅雨期は河川の水位が上昇しているので流域に大雨が降ると短時間で警戒水位を超え溢水し、堤防の決壊等が起こる。梅雨期に前線によって降る雨は、台風の雨と違って比較的長時間に渡って降り続き局地的に豪雨を降らせることがある。梅雨後期の夏期や9～10月の秋りん期にも、前線によって豪雨を降らせることがあり、この雨は俗に集中豪雨とよばれるように局地的に降るので、小河川の氾濫や洪水を起こすことがある。夏から秋にかけての前線には、南方海上の台風の影響で大雨を降らせることがあるので注意しなければならない。

(1) 過去の主な風水害

年月日	種別 (災害の要因)	名古屋の記録			被害の概要	①災害の特徴 ②被害の程度 ③発生場所 ④被害額
		最低気圧 (hpa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)		
T元.9.22~23	暴雨風	971.4	28.2 SSE	102.9	②死者140名、負傷者180名、 家屋全壊6,000棟	
T8.9.16~17	暴雨風				②死者4名、家屋全壊40棟、浸水700棟	
T10.9.25~26	暴雨風	986.7	18.3 SE	43.9	②死者27名、負傷者22名	
T14.8.14~15	大雨				②死者6名、負傷者3名、家屋全壊625棟、 浸水20,000棟	
T14.9.11	暴雨風	996.0	22.8 SEE	186.8	②死者12名、負傷者3名、家屋全壊52棟、 浸水20,000棟	
T15.9.4	暴雨風	989.1	20.8 NNW	52.9	②死者23名、負傷者70名、 家屋全壊166棟、浸水1,400棟	
S5.7.19	大雨				②死者13名、負傷者2名、家屋全壊13棟、 浸水2,000棟	
S7.7.1~3	大雨				②死者26名、負傷者9名、家屋全壊30棟、 浸水2,700棟	
S9.9.21	暴雨風 (室戸台風)	975.9	32.9 SSE	24.0	②死者8名、負傷者68名、家屋全壊85棟	
S10.10.27	大雨				②死者1名、負傷者2名、浸水13,000棟	
S11.10.2~3	暴雨風	984.6	12.7 N	198.2	②死者2名、負傷者8名、家屋全壊4棟、 浸水15,000棟	
S13.7.3~5	大雨				②死者2名、家屋全壊6棟、浸水4,500棟	
S19.10.7~8	暴雨風	975.3	3.7 SSE	80.8	②死者5名、負傷者2名、家屋全壊95棟、 浸水700棟	
S20.9.18	暴雨風 (枕崎台風)	988.7	20.2 SSE	40.3	②死者4名、負傷者8名、家屋全壊400棟、 浸水600棟	
S20.10.11	暴雨風 (阿久根台風)	997.1	14.0 SSE	228.9	②死者1名、家屋全壊1棟、浸水6,000棟	
S25.9.3	暴雨風 (ジェーン台風)	995.4	26.7 SE	47.4	②死者6名、負傷者36名、家屋全壊40棟、 浸水300棟	
S27.6.23~24	暴雨風 (ダイナ台風)	991.3	13.7 NNE	177.2	②死者1名、負傷者3名、浸水6,800棟	
S28.9.25	暴雨風 (台風13号)	970.0	22.6 NNW	178.1	②死者72名、負傷者623名、 家屋全壊6,769棟、浸水90,000棟	

年月日	種別 (災害の要因)	名古屋の記録			被害の概要	①災害の特徴 ②被害の程度 ③発生場所 ④被害額
		最低気圧 (hpa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)		
S29. 7. 30	大雨				②死者3名、負傷者1名、家屋全壊15棟、浸水6,870棟	
S30. 10. 20	暴雨風 (台風26号)	989.7	20.8 SSE	34.3	②死者3名、負傷者18名、家屋全壊65棟、半壊61棟、一部破損113棟、床上浸水14棟、床下浸水599棟	
S32. 8. 7	大雨 (多治見大雨)				②死者33名、負傷者44名、家屋全壊88棟、半壊89棟、床上浸水3,547棟、床下浸水13,961棟	
S33. 8. 25	暴雨風 (台風17号)	999.0	17.7 SE	139.9	②死者3名、負傷者1名、家屋全壊9棟、半壊25棟、一部破損248棟、床上浸水116棟、床下浸水4,682棟	
S34. 8. 14	大雨	993.5	13.4 WNW	234.0	②負傷者1名、家屋全壊1棟、半壊20棟、一部破損2棟、床上浸水14棟、床下浸水80,826棟	
S34. 9. 26	暴雨風・高潮 (伊勢湾台風)	958.5	37.0 SSE	165.7	①台風と高潮による災害で伊勢湾を中心に県下全域の沿岸部に被害が集中した。 ②死者3,168名、行方不明92名、負傷者59,045名、家屋全壊23,334棟、流失3,194棟、半壊97,049棟、一部破損287,059棟、床上浸水53,560棟、床下浸水62,831棟 ③県下全域(沿岸部中心) ④3,224億円	
S36. 6. 23~29	大雨 36.6梅雨 前線豪雨			398 立田 682	①集中豪雨による災害で尾張部を中心に河川の氾濫等の被害が発生した。 ②死者4名、負傷者13名、行方不明2名、家屋全壊29棟、流失2棟、半壊72棟、床上浸水7,969棟、床下浸水66,654棟 ③県下全域 ④111億円	

年 月 日	種 別 (災害の要因)	名古屋の記録			被害の概要	①災害の特徴 ②被害の程度 ③発生場所 ④被害額
		最低気圧 (hpa)	最大風速 (m/s) 風 向	総雨量 (mm)		
S36. 9. 16	暴 風 雨 (第二室戸台風)	971. 9	28. 7 SSE	96. 4	①集中豪雨による災害で中小河川の氾濫・暴風雨による竜巻等の被害が発生した。 ②死者 3 名、負傷者 146 名、 家屋全壊 168 棟、半壊 515 等、 床上浸水 652 棟、床下浸水 8, 868 棟 ③尾張部 ④104 億円	
S37. 6. 30~7. 5	大 雨 (前 線)			103 (伊良湖) 236	①局地的集中豪雨による災害で中小河川の氾濫等の被害が発生した。 ②死者 2 名、負傷者 1 名、家屋全壊 2 棟、 床上浸水 2 棟、床上浸水 1, 605 棟 床下浸水 15, 501 棟 ③東三河、尾張部	
S37. 8. 26	暴 風 雨 (台風 14 号)	996. 5	23. 3 SSE	110	①風水害による災害で県下全域で被害が発生した。 ②死者 1 名、負傷者 9 名、家屋全壊 26 棟、 半壊 28 棟、床上浸水 177 棟、 床下浸水 7, 556 棟 ③県下全域 ④42 億円	
S39. 9. 25	暴 風 雨 (台風 20 号)	992. 8	22. 0 SSE	105. 2	①雨による災害で県下全域で被害が発生した。 ②死者 2 名、負傷者 10 名、家屋全壊 6 棟、 半壊 12 棟、床上浸水 23 棟、 床下浸水 2, 298 棟 ③県下全域(主として名古屋、尾張、海部、知多) ④26 億円	
S40. 9. 17	暴 風 雨 (台風 24 号)	970. 2	17. 0 N	188. 6	①雨による災害で平野部に被害が多く発生した。 ②死者 1 名、負傷者 18 名、家屋全壊 12 棟、半 壊 62 棟、床上浸水 1, 728 棟、 床下浸水 49, 622 棟 ③県下全域(主として名古屋、海部) ④93 億円	

年 月 日	種 別 (災害の要因)	名古屋の記録			被害の概要	①災害の特徴 ②被害の程度 ③発生場所 ④被害額
		最低気圧 (hpa)	最大風速 (m/s) 風 向	総雨量 (mm)		
S41. 10. 12	大 雨 (東三河集中豪雨)			54 田原 345	①集中豪雨による災害で東三河の平野部に中小河川の氾濫等の被害が発生した。 ②死者 10 名、負傷者 14 名、家屋全壊 18 棟、半壊 11 棟、床上浸水 11 棟、床下浸水 20, 747 棟 ③東三河(豊橋、田原中心) ④42 億円	
S43. 8. 29	大 雨 (台風 10 号)	991. 5	15. 7 SSE	179 茶臼山 587	①集中豪雨による災害で三河山間部に中小河川の氾濫、山(がけ)崩れ等の被害が発生した。 ②死者 6 名、負傷者 15 名、家屋全壊 24 棟、半壊 24 棟、一部破損 45 棟、床上浸水 292 棟、床下浸水 4, 314 棟 ③奥三河(新城及び南・北設楽部) ④59 億円	
S44. 8. 4~5	大 雨 (台風 7 号)	990. 6	14. 8 ESE	64 新城 365. 5	①集中豪雨による災害で三河山間部に中小河川の氾濫、山(がけ)崩れ等の被害が発生した。 ②死者 3 名、負傷者 5 名、家屋全壊 10 棟、半壊 36 棟、一部破損 81 棟、床上浸水 661 棟、床下浸水 3, 515 棟 ③奥三河(新城、宝飯郡、南・北設楽部) ④45 億円	
S45. 7. 29~30	集 中 豪 雨	1, 010. 8	7. 7 ENE	123. 5	②死者 3 名、負傷者 4 名、家屋全壊 2 棟、半壊 7 棟、床上浸水 4, 552 棟、床下浸水 37, 946 棟 ③尾張部 ④18 億円	
S46. 8. 30~31	大 雨 (台風 23 号)	987. 5	10. 0 E	321. 5	②死者 4 名、負傷者 15 名、家屋全壊 19 棟、半壊 127 棟、一部破損 228 棟、床上浸水 6, 136 棟、床下浸水 59, 160 棟 ③県下全域 ④176 億円	

年月日	種別 (災害の要因)	名古屋の記録			被害の概要	①災害の特徴 ②被害の程度 ③発生場所 ④被害額
		最低気圧 (hpa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)		
S47.7.12~13	集中豪雨 {47.7豪雨 台風6号}			{289 猿投 458}	①集中豪雨による災害で西三河山間部に中小河川の氾濫、山(がけ)崩れ等の被害が発生した。 ②死者64名、行方不明4名、負傷者12名、家屋全壊271棟、半壊287棟、 床上浸水20,075棟、床下浸水12,077棟 ③西三河(小原、藤岡、豊田、足助) ④302億円	
S49.7.7	豪雨 {七夕豪雨 台風8号}	1,008.20	6.7 SE	65 新城 323 東栄 302 南知多 285	①台風と梅雨前線による集中豪雨災害で、中小河川の氾濫、がけ崩れ、橋梁の流失等の被害が発生した。 ②死者3名、負傷者12名、家屋全壊16棟、半壊70棟、一部破損86棟、 床上浸水1,820棟、床下浸水11,880棟 ③知多、東三河地域(豊橋、蒲郡、南知多他31市町村) ④195億円	
S49.7.24~25	大雨			{139.8 津島 333 常滑 315 一宮 237}	①集中豪雨による災害で尾張・海部・知多を中心に家屋の浸水被害が多発した。 ②死者1名、負傷者7名、床上浸水7,248棟、 床下浸水74,035棟 ③県下全域 ④92億円	
S51.9.8~13	集中豪雨 {51.9集中 豪雨17号}	1002.4	10.2 SE	{422 一宮 682 南知多 602}	①集中豪雨による災害で、尾張・海部・知多に中小河川の氾濫等の被害が発生した。 ②死者1名、負傷者37名、家屋全壊14棟、半壊437棟、一部破損461棟、 床上浸水13,050棟、床下浸水102,677棟 ③尾張、海部、知多地域(59市町村) ④378億円	

年月日	種別 (災害の要因)	名古屋の記録			被害の概要	①災害の特徴 ②被害の程度 ③発生場所 ④被害額
		最低気圧 (hpa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)		
S54.9.24~25	豪雨			94 名古屋市 港区 224 一時間雨 量 108	①雷を伴った前線による局地的な豪雨災害で、 家屋の浸水、道路・河川等に被害が発生した。 ②死者2名、床上浸水1,665棟、 床下浸水33,351棟 ③県西部地域(名古屋、東海他18市町村) ④26億円	
S54.9.28~10.1	暴風雨 (台風16号)	981.9 小牧 978.2	17.7 SE 伊良湖 21.3 S	50 茶臼山 170	①台風の通過による災害で家屋損壊、農水産物、公共土木施設等に被害が発生した。 ②死者1名、負傷者23名、家屋全壊2棟、 半壊20棟、一部破損217棟、 床上浸水9棟、床下浸水178棟 ③県全域 ④65億円	
S54.10.18~19	暴風雨 (台風20号)	971.9 小牧 969.4	14.2 W 伊良湖 20.0 S	80 作手 282 茶臼山 279 鳳来 233	①台風の通過による災害で家屋損壊、農水産物、公共土木施設等に被害が発生した。 ②行方不明者1名、負傷者8名、 家屋全壊4棟、半壊5棟、一部破損26棟、 床上浸水39棟、床下浸水314棟 ③県全域 ④113億円	
S57.8.1~3	暴風雨 台風10号と 低気圧	975.1 伊良湖 973.0	9.4 SSW 伊良湖 21.1 E	184.5 鳳来 501 伊良湖 444	①台風と低気圧による大雨に伴う災害で家屋損壊、農地農業用施設、農林水産物、公共土木施設等に被害が発生した。 ②負傷者9名、家屋全壊1棟、半壊4棟、 一部破損91棟、床上浸水230棟、 床下浸水2,777棟 ③県全域 ④131億円	

年月日	種別 (災害の要因)	名古屋の記録			被害の概要	①災害の特徴 ②被害の程度 ③発生場所 ④被害額
		最低気圧 (hpa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)		
S57.9.11~12	暴風雨 (台風18号)	984.1 伊良湖 980.5	10.3 N 伊良湖 19.7 NNW	134.0 伊良湖 306.5	①台風の通過による災害で家屋損壊、農林産物、公共土木施設等に被害が発生した。 ②死者1名、負傷者1名、家屋半壊1棟、一部破損4棟、床上浸水7棟、床下浸水324棟 ③主として県東部 ④23億円	
S58.8.16~17	暴風雨 (台風5号)	982.0 伊良湖 974.9	7.2 WNW 伊良湖 19.0 ENE	100 豊橋 419	①台風の通過による災害で家屋損壊、農林産物、公共土木施設等に被害が発生した。 ②負傷者1名、家屋全壊1棟、半壊1棟、一部破損3棟、床上浸水33棟、床下浸水356棟 ③主として県東部 ④約13億円	
S58.9.27~28	暴風雨 (台風10号)	992.2	9.5 N 伊良湖 11.2 SSE	234 小原 291 茶臼山 305	①台風の通過、特に豪雨による災害で家屋損壊、農水産物、公共土木施設、農林水産業施設、農水産物等に被害が発生した。 ②死者5名、負傷者1名、家屋全壊2棟、半壊1棟、一部破損25棟、床上浸水762棟、床下浸水16,974棟 ③主として県西部 ④約28億円	
H元.9.2~4	大雨			132 茶臼山 325	①低気圧に伴う寒冷前線による災害 ②死者1名、負傷者3名、家屋全壊1棟、一部破損2棟、床上浸水3棟、床下浸水139棟 ③県全域 ④約24億円	

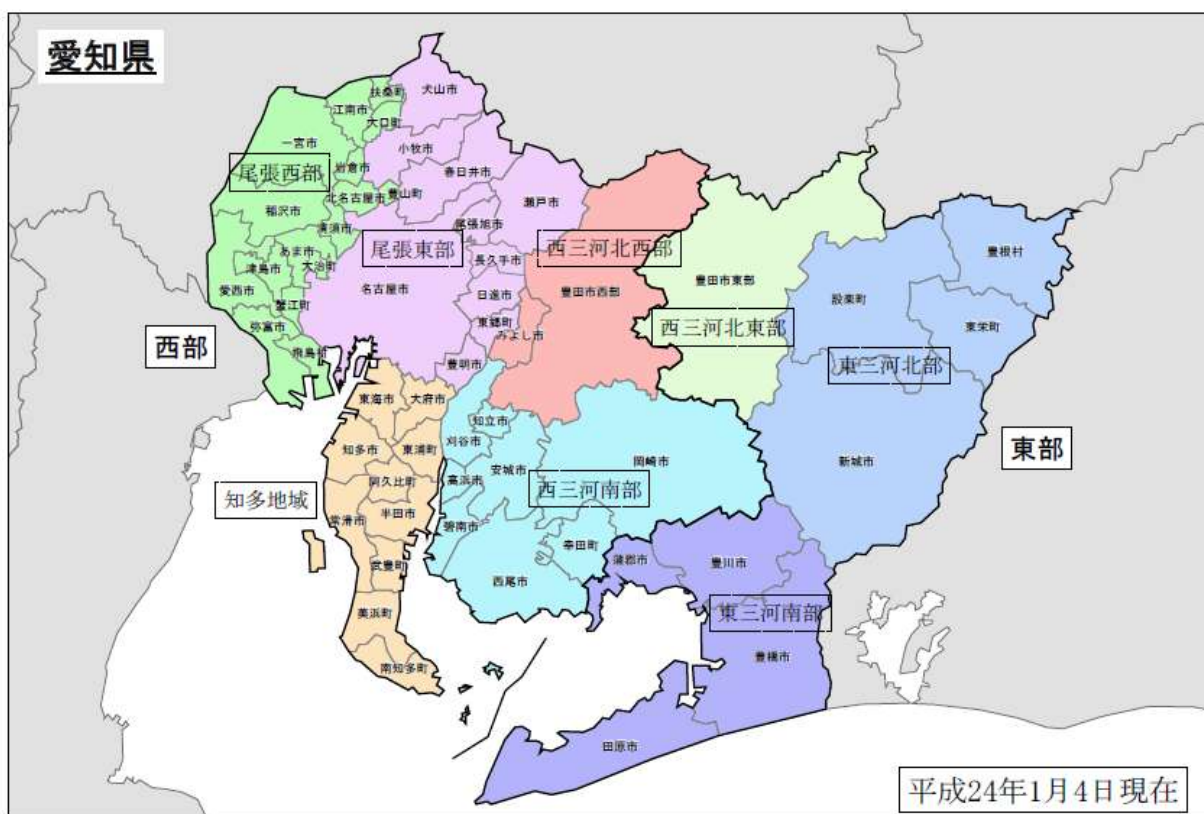
年 月 日	種 別 (災害の要因)	名古屋の記録			被害の概要	①災害の特徴 ②被害の程度 ③発生場所 ④被害額
		最低気圧 (hpa)	最大風速 (m/s) 風 向	総雨量 (mm)		
H元. 9. 19~20	(台風 22 号)			47 茶臼山 295	①台風の通過、特に東加茂郡を中心とした豪雨による土砂災害により家屋損壊、農水産物、公共土木施設、農林水産業施設等に被害が発生した。 ②死者2名、負傷者1名、家屋全壊18棟、半壊11棟、一部破損9棟、床上浸水121棟、床下浸水134棟 ③県全域 ④約92億円	
H2. 9. 19~20	(台風 19 号)	972.5 伊良湖 976.9	20.1 SSE 伊良湖 26.2 S	95 作手 254	①台風の通過による災害で、特に農業用施設、農産物の被害が著しかった。 ②負傷者29名、家屋全壊2棟、半壊28棟、一部破損2,297棟、床上浸水67棟、床下浸水1,408棟 ③県全域 ④約153億円	
H3. 9. 18~19	大雨 (台風 18 号) ・ 前線	総降水量 1時間降水量	名古屋 南知多 名古屋 東海 南知多	342 mm 316 mm 57 mm 55 mm 48 mm	①台風18号の接近に伴い、本州南岸の秋雨前線の活動が活発化した。このため、名古屋市3区(北・緑・天白)及び春日井市では、災害救助法が適用された。 ②死者2名、軽傷者1名、住家の全壊2棟、一部損壊9棟、床上浸水3,713棟、床下浸水12,131棟 ③県全域 ④約60億円	
H6. 9. 29~30	暴風雨・竜巻 (台風 26 号)	風 速 瞬間風速 総降水量 1時間降水量	名古屋 名古屋 作手 作手	SSE 19.4 m/s SSE 36.7 m/s 235 mm 48 mm	①台風の他、竜巻が発生した。 ②負傷者37名、住家の全壊8棟、半壊113棟、一部損壊981棟、床上浸水137棟、床下浸水456棟 ③県内全域 ④約53億円	

年月日	種別 (災害の要因)	名古屋の記録			被害の概要	①災害の特徴 ②被害の程度 ③発生場所 ④被害額
		最低気圧 (hpa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)		
H10.9.21~23	暴風雨 (台風7・8号)	風速 瞬間風速 総降水量 1時間降水量	名古屋 名古屋 茶臼山 作手	SSE 21.5 m/s SSE 42.6 m/s 329 mm 63 mm	①台風8号が21日、7号が22日と続いて上陸。8号は雨、7号は風による被害が大きかった。交通網が大混乱し、農業被害も大きかった。 ②死者3名、負傷者151名、住家の全壊8棟、半壊35棟、一部損壊661棟 ③県内全域 ④約33億円	
H11.9.24~26	竜巻 (台風18号)	風速 瞬間風速	名古屋 伊良湖 名古屋 伊良湖	SSE 11.2m/s S 11.0 m/s S 23 m/s S 20.5 m/s	①台風18号の外側を取り巻く積乱雲が、東海地方の南海上から県沿岸にかかり、4個の竜巻が相次いで発生した。このため、豊橋市では、被災者生活再建支援法(法律第66号)が、平成10年11月6日施行されて以来、本県で初めて同法の適用となった。 ②負傷者453名、住家の全壊41棟、半壊311棟、一部損壊1,052棟 ③主として県東部 ④約21億円	
H12.9.11~12	大雨 (台風14号・前線) 東海豪雨	総降水量 1時間降水量	名古屋 東海 蟹江 一宮 稲武 蒲郡 名古屋 東海 蟹江 一宮 稲武 蒲郡	566.5 mm 589 mm 365 mm 293 mm 467 mm 249 mm 97 mm 114 mm 78 mm 54 mm 70 mm 55 mm	①秋雨前線に台風14号からの暖かく湿った空気が多量に流れ込んだため、前線の活動が活発となり、愛知県を中心とした東海地方で記録的な大雨となった。このため、23の市町村が避難勧告・指示を発令し、63,000人以上が避難され、21市町村で、災害救助法及び被災者生活再建支援法の適用がされた。また、この災害が、激甚災害に指定され、中小企業支援措置及び農地・農業施設用支援並びに林道の災害復旧事業支援措置がなされ、旭町、稲武町が局地激甚災害(公共土木施設分)の指定を受けた。 ②新川をはじめ県内河川の破堤20箇所、越水319箇所。死者7名、負傷者107名、住家の全壊18棟、半壊154棟、一部損壊147棟、床上浸水22,078棟、床下浸水39,728棟 ③県内全域 ④約2,800億円	

年月日	種別 (災害の要因)	名古屋の記録			被害の概要	①災害の特徴 ②被害の程度 ③発生場所 ④被害額
		最低気圧 (hpa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)		
H15. 8. 21~22	暴風雨 (台風 11 号)	総降水量 1時間降水量	茶臼山 作手 岡崎 茶臼山 南知多 一色 鳳来	330 mm 313 mm 255 mm 34 mm 34 mm 33 mm 32 mm	①台風の通過による災害 ②死者 1 名、負傷者 1 名、床上浸水 3 棟、 床下浸水 165 棟 ③県内全域 ④約 3 億円	
H15. 8. 8~9	暴風雨 (台風 10 号)	総降水量 瞬間風速	茶臼山 作手 名古屋	382 mm 336 mm ESE 28m/s	①台風の通過による災害 ②負傷者 5 名、一部損壊 5 棟、 床上浸水 1 棟、床下浸水 15 棟 ③県内全域 ④約 24 億円	
H16. 6. 21	暴風雨 (台風 6 号)	総降水量 瞬間風速	茶臼山 名古屋 伊良湖	284 mm 34 m/s 30 m/s	①台風の通過による災害 ②負傷者 27 名、半壊 1 棟、一部損壊 16 棟、 床下浸水 3 棟 ③県内全域 ④約 13 億円	
H16. 10. 20~21	暴風雨 (台風 23 号)	総降水量 瞬間風速	茶臼山 名古屋 伊良湖	265 mm S33 m/s SE35 m/s	①台風の通過による災害 ②死者 1 名、負傷者 18 名、一部損壊 41 棟、 床上浸水 21 棟、床下浸水 160 棟 ③県内全域 ④約 17 億円	
H20. 8. 28~30	大雨 (8 月末豪雨)	総降水量 1時間降水量	岡崎 蒲郡 豊橋 一宮 名古屋 岡崎 一宮 豊橋 蒲郡 名古屋	447.5 mm 365 mm 351.5 mm 272 mm 237 mm 146.5 mm 104 mm 62.5 mm 58.5 mm 55 mm	①停滞していた前線に非常に湿った空気が流れ 込んだため、前線の活動が活発となり、県内各地 で記録的な大雨となった。このため、名古屋市及 び岡崎市で災害救助法及び被災者生活再建支援 法の適用がされた。 ②広田川が破堤。死者 2 名、負傷者 5 名、住家の 全壊 5 棟、半壊 3 棟、一部損壊 29 棟、床上浸水 2,480 棟、床下浸水 14,106 棟 ③県内全域 ④約 107 億円	

年 月 日	種 別 (災害の要因)	名古屋の記録			被害の概要	①災害の特徴 ②被害の程度 ③発生場所 ④被害額
		最低気圧 (hpa)	最大風速 (m/s) 風 向	総雨量 (mm)		
H21. 10. 7～8	暴 風 雨 (台風 18 号)	総降水量 瞬間風速	東海 名古屋 良湖	206 mm 29.9 m/s 39.9 m/s	①台風 18 号が知多半島付近に上陸し、特に農業用施設、農産物の被害が著しかった。 ②負傷者 19 名、家屋全壊 6 棟、半壊 41 棟、一部損壊 2,092 棟、床上浸水 246 棟、床下浸水 1,235 棟 ③県内全域 ④約 134 億円	
H23. 9. 20～21	暴 風 雨 (台風 15 号)	総降水量	茶臼山	473.0mm	①東海豪雨と非常によく似た気圧配置となり局地的な豪雨となった。 ②死者 4 名、負傷者 2 名、一部損壊 69 棟、床上浸水 239 棟、床下浸水 572 棟 ③県内全域	
H28. 9. 19～20	暴 風 雨 (台風 16 号)	総降水量	阿蔵 愛西 作手	190.5 mm 187.0 mm 185.0 mm	①東海地方に停滞した前線と紀伊半島に上陸した台風が愛知県内を東進した影響で大雨となった。 ②死者 1 名、負傷者 2 名、一部損壊 2 棟、床上浸水 8 棟、床下浸水 206 棟 ③県内全域	

(2) 愛知県予報区における細分区域図



(3) 気象・水象に関する予報警報

(名古屋地方気象台)

名古屋地方気象台が異常気象によって県下に災害が起こるおそれがあると予想したとき発表するもの。

1 特別警報

種類	発表基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは数十年に一度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合。
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、暴風が吹くと予想される場合。
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、高潮になると予想される場合。
波浪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、高波になると予想される場合。
暴風雪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、雪を伴う暴風が吹くと予想される場合。
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合。

2 警報

種 類	発 表 基 準
暴 風 警 報	暴風によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。 具体的には次の条件に該当する場合である。 平均風速が陸上 20m/s、海上 23m/s を超えると予想される場合。
暴風雪警報	暴風雪によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。 具体的には次の条件に該当する場合である。 降雪を伴い平均風速が陸上 20m/s、海上 23m/s を超えると予想される場合。
大 雨 警 報 (浸水害)	大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合 具体的には岩倉市に発令されるのは次の条件に該当する場合である。 (浸水害) 表面雨量指数基準*が 23 に到達することが予想される時 * 表面雨量指数：地面の被覆状況や地質、地形勾配等の地理情報を考慮して、降った雨が地表面にたまっている量をタンクモデルにより数値化した指標
大 雪 警 報	大雪によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。 具体的には次の条件に該当する場合である。 12 時間の降雪の深さが 10 cm を超えると予想される場合。
洪 水 警 報	洪水によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。 具体的には次の条件に該当する場合である。 五条川の流域雨量指数*が 12.4 を超えると予想される場合。 * 流域雨量指数：降った雨水が地表面や地中を通して時間をかけて河川に流れ出し、さらに河川に沿って流れ下る量を、タンクモデルや運動方程式等を用いて数値化した指標

3 注意報・情報

種 類	発 表 基 準
風雪注意報	風雪による被害が予想される場合。 具体的には次の条件に該当する場合である。 降雪を伴い平均風速が陸上 13m/s、海上 16m/s を超えると予想される場合。
強風注意報	強風による被害があると予想される場合。 具体的には次の条件に該当する場合である。 平均風速が陸上 13m/s、海上 16m/s を超えると予想される場合。
大雨注意報	かなりの降雨があつて被害が予想される場合。 具体的には次の条件に該当する場合である。 表面雨量指数が 13、または土壌雨量指数*が 116 に到達することが予想される時 * 土壌雨量指数：降った雨による土砂災害危険度の高まりを把握するための指標
大雪注意報	大雪によって被害が予想される場合。 具体的には次の条件に該当する場合である。 12 時間の降雪の深さが 5 cm を超えると予想される場合。

濃霧注意報	濃霧のため交通機関等に著しい支障を及ぼすおそれのある場合 具体的には次の条件に該当する場合である。 濃霧によって視程が陸上 100m 以下又は海上 500m 以下になると予想される場合。
雷注意報	落雷等により被害の予想される場合。
乾燥注意報	空気が乾燥し、火災の危険が大きいと予想される場合。 具体的には次の条件に該当する場合である。 最小湿度が 30%、実効湿度が 60%になると予想される場合。
着氷(雪)注意報	著しい着氷(雪)が予想される場合。
霜注意報	早霜、晩霜等により農作物に著しい被害が予想される場合。 具体的には次の条件に該当する場合である。 最低気温 3℃以下。
低温注意報	低温のため農作物に著しい被害が予想される場合。 概ね、冬期、名古屋で最低気温が -4℃以下。
洪水注意報	洪水により被害が予想される場合。 具体的には次の条件に該当する場合である。 五条川の流域雨量指数が 12.4 を超えると予想される場合。
気象情報	1. 災害に結びつくような顕著な現象の発現が予想される注意報・警報等を発表するに至らない場合などに予告的に発表する時と、顕著な現象が切迫している、あるいは発現して注意報・警報を発表している場合等に注意報・警報を補完するために発表する時がある。 2. 1 時間に 100 mm 以上の猛烈な雨が観測された場合（「記録的短時間大雨情報」）。 ※ 気象情報のうち、平年から大きくかけ離れた気象状況が数日間またはそれ以上の長期間に渡って続き、災害の発生する可能性がある等、社会的に大きな影響が予想される場合に発表する情報を「天候情報」という。

- (注) 1. 発表基準欄に記載した数値は、愛知県における過去の災害発生頻度と気象条件との関係を調査してきめたものであり、気象要素によって災害発生を予想する際のおおむねの目安である。
2. 注意報、警報はその種類に関わらず解除されるまで継続される。また、新たな注意報、警報が発表される時は、これまで継続中の注意報、警報は自動的に解除又は更新され、新たな注意報、警報に切り替えられる。
3. 地面現象注意報及び浸水注意報は、その注意報事項を気象注意報に、地面現象警報及び浸水警報は、その警報事項を気象警報に含めて行う。
4. 平地、山地の区分はおおむね標高 200 メートルである。
5. 地震の被災地等に対する二次災害防止のため、現象の強さが基準に達しないと予想される場合でも、警報、注意報を発表することがある。

(4) 木曽川洪水予報警報

中部地方整備局と名古屋地方気象台が共同して、木曽川が洪水のおそれがあると予想したとき発表するもの。

種類	発表基準
木曽川洪水注意報	水位又は流量の予報に関する基準地点の水位、流量が警戒水位流量を越えるおそれのあるとき、及び警戒水位流量を越え注意を要するとき。

木曾川洪水警報	同上により重大な災害が起こるおそれがあるとき。
木曾川洪水情報	洪水警報及び洪水注意報の補足説明及び軽微な修正を必要とするとき。
解除	洪水注意報の必要がなくなると認められたとき。

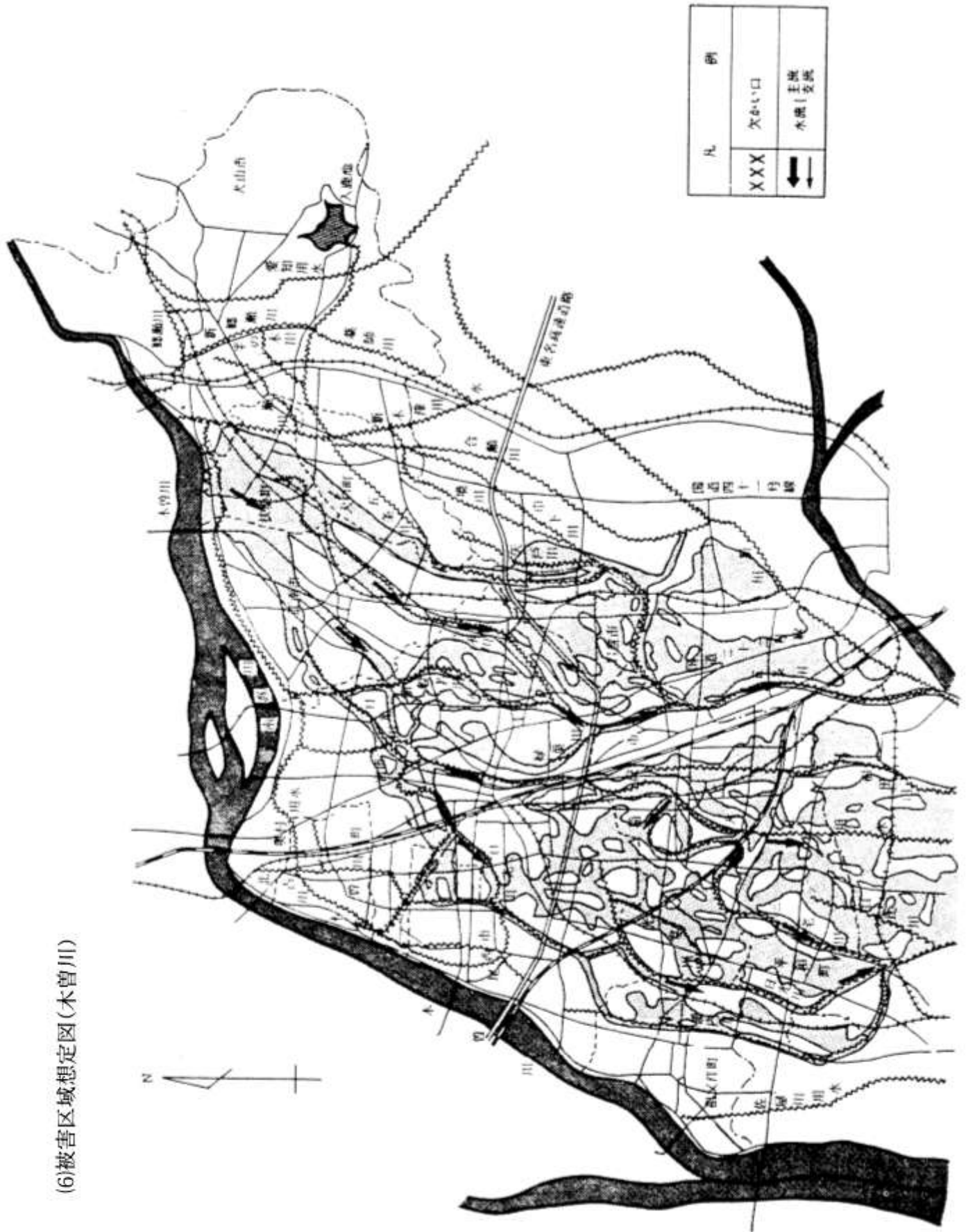
- (注) 1. 気象台が単独で発表する注意報、警報とは別に取り扱う。
2. 各河川毎に注意報、警報別に一連番号を付す。解除は無番

(5) 水防警報

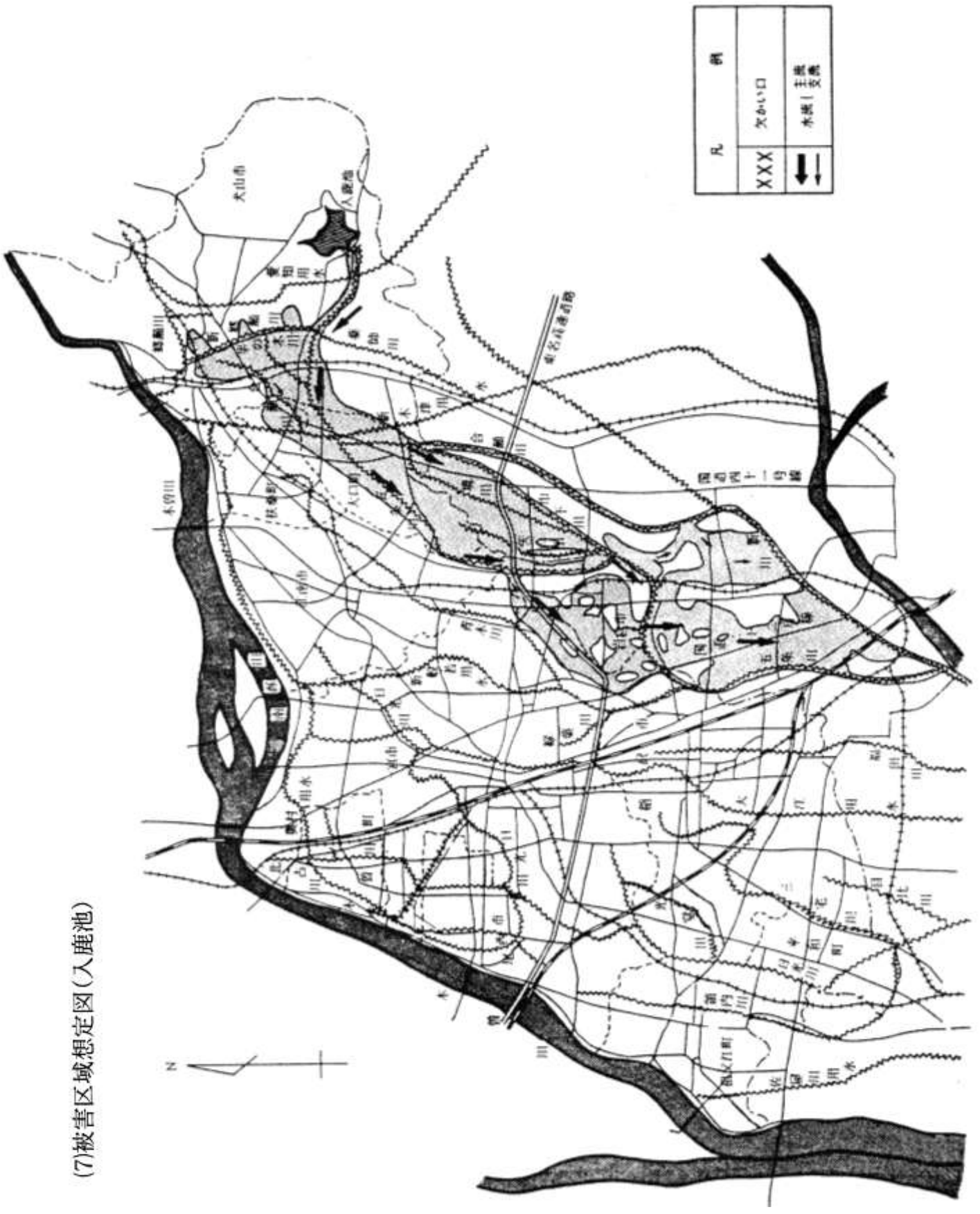
水位観測所の水位が警戒水位に達するか若しくは警戒水位を越えるとき又は洪水若しくは高潮による災害の発生が予想される場合において、水防を必要とする旨の警告を発するもの。

河川名	観測所名	地先名	警戒水位
木曾川	犬山	犬山市大字栗栖町太平	9.20m

(6)被害区域想定図(木曾川)



(7)被害区域想定図(入鹿池)



(8) 岩倉地内の過去の災害

1791年	(寛政3年)	大風 下市場地内 14軒倒壊
1798年	(寛政10年)	大水害
1837年	(天保8年)	大風 岩倉地内 93軒全壊
1850年	(嘉永3年)	岩倉地内風水害に見舞われる
1868年	(明治元年)	入鹿池の堤防決壊による水害
1891年	(明治24年)	濃尾地震 岩倉地内 70%以上の被害を受ける
1896年	(明治29年)	大水害
1912年	(大正元年)	大風害
1923年	(大正12年)	関東大地震 岩倉地内の鉄工場の煙突倒壊
1959年	(昭和34年)	伊勢湾台風 死者2名
1967年	(昭和42年)	水害、大雨に見舞われる(7月中に2回) 床上浸水7戸
1971年	(昭和46年)	台風23号による風水害
2000年	(平成12年)	東海豪雨災害

(9) 岩倉市内の最近の災害記録

年月日	原因	雨量	被害の状況		
			床上浸水	床下浸水	罹災者数
昭47. 7. 15	集中豪雨	108 mm		59 戸	213 人
昭49. 7. 25	集中豪雨	194 mm	21 戸	2,000 戸	8,060 人
昭50. 7. 4	集中豪雨	140 mm	2 戸	213 戸	752 人
昭50. 7. 7	集中豪雨	59 mm		36 戸	128 人
昭50. 8. 6	集中豪雨	101 mm		113 戸	372 人
昭51. 9. 8~13	集中豪雨	552 mm	10 戸	393 戸	1,612 人
昭62. 7. 15	集中豪雨	99.5 mm		256 戸	793 人
昭63. 8. 24	集中豪雨	108.5 mm		134 戸	402 人
昭63. 9. 20	集中豪雨	93 mm		67 戸	221 人
平2. 9. 19~20	集中豪雨	90 mm		91 戸	273 人
平2. 11. 30	集中豪雨	170 mm		120 戸	360 人
平3. 9. 26	集中豪雨	168 mm	1 戸	75 戸	225 人
平5. 9. 9	集中豪雨	102 mm		16 戸	42 人
平12. 9. 11~12	集中豪雨	338.5 mm	96 戸(106)	373 戸(391)	1,076 人
平16. 7. 10	集中豪雨	151mm		77 戸	231 人
平20. 8. 28~29	集中豪雨	166mm	4 戸	95 戸	297 人
平21. 10. 8	集中豪雨	126.5mm		15 戸	45 人
平22. 7. 15	集中豪雨	83.5mm		3 戸	7 人
平22. 8. 10	集中豪雨	55mm			
平22. 9. 15	集中豪雨	62.5mm			
平25. 9. 4	集中豪雨	117mm	2 戸	27 戸	62 人
平28. 9. 20	集中豪雨	133mm		17 戸	31 人

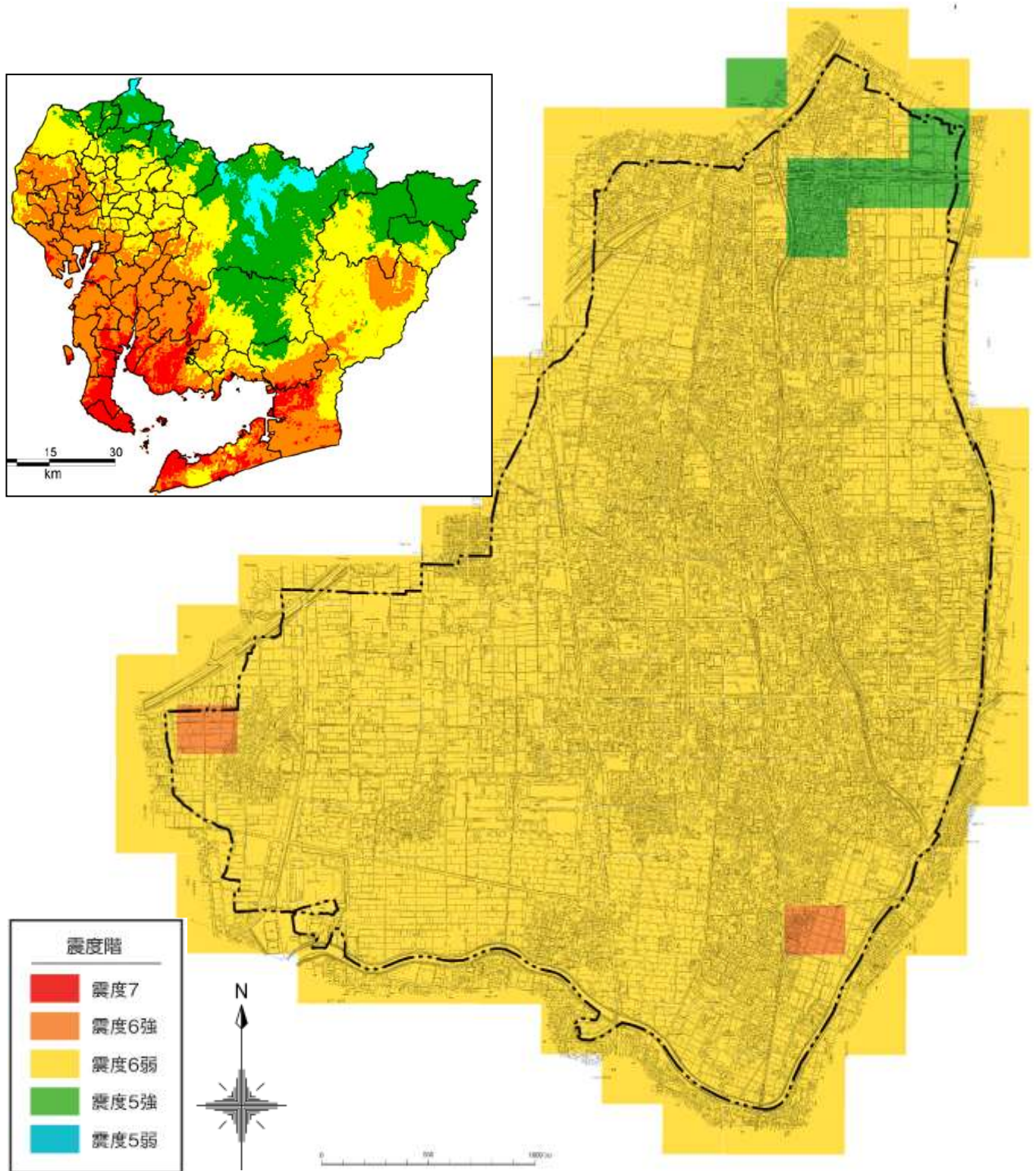
(10) 伊勢湾台風による岩倉地内の被害

() 世帯

世 帯 数 (世 帯)		2, 7 5 7
人 口 (人)		1 4, 3 2 3
人 (人)	死 者	2
	重 傷 者	4
	軽 傷 者	1 1
	計	1 7
住 家 (戸)	全 壊	7 7
	半 壊	1 0 9
	床 下 浸 水	1, 1 5 0
	計	1, 3 3 6
非 住 家		6 7 9

3 地震

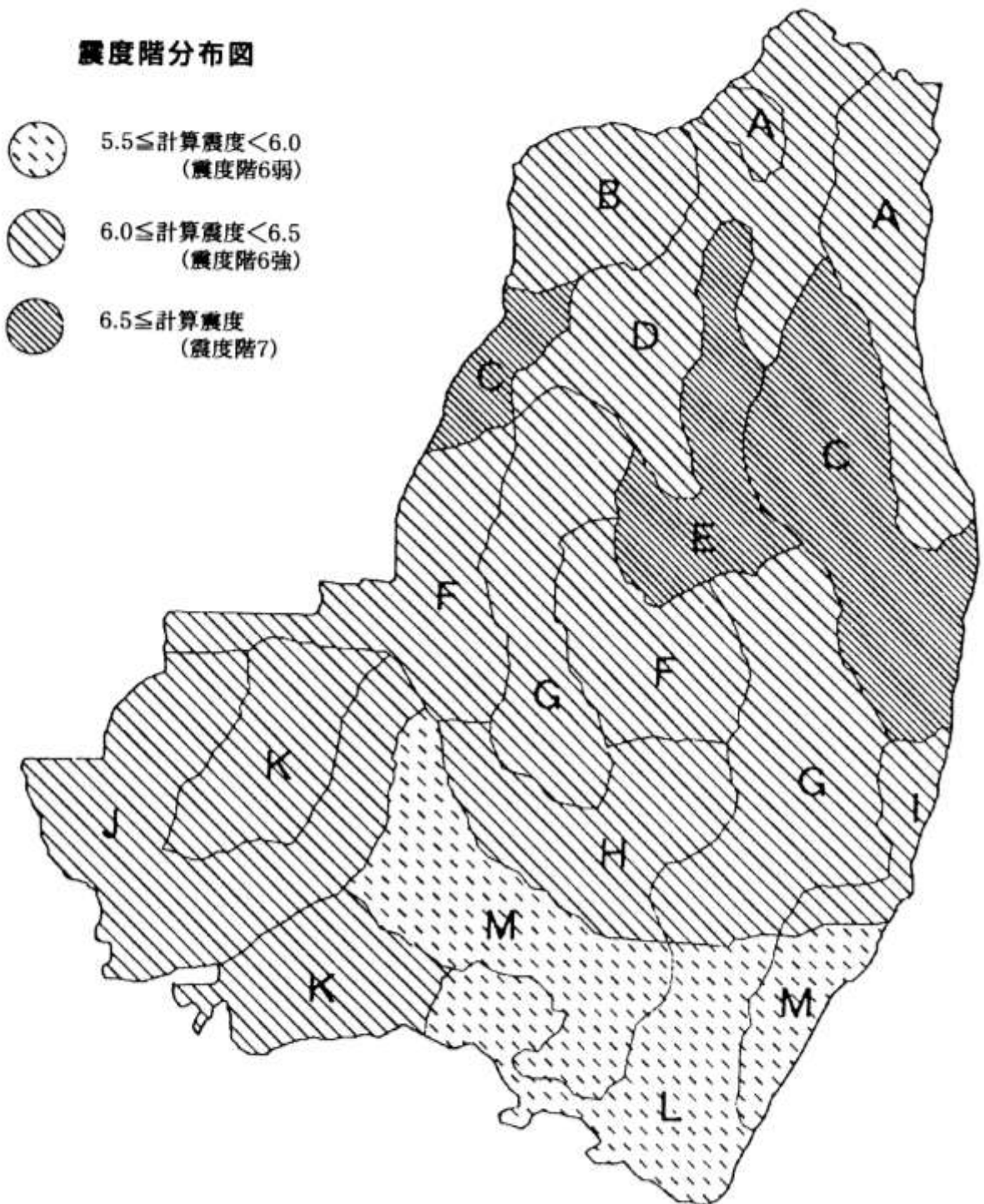
(1) 南海トラフ地震による震度分布図



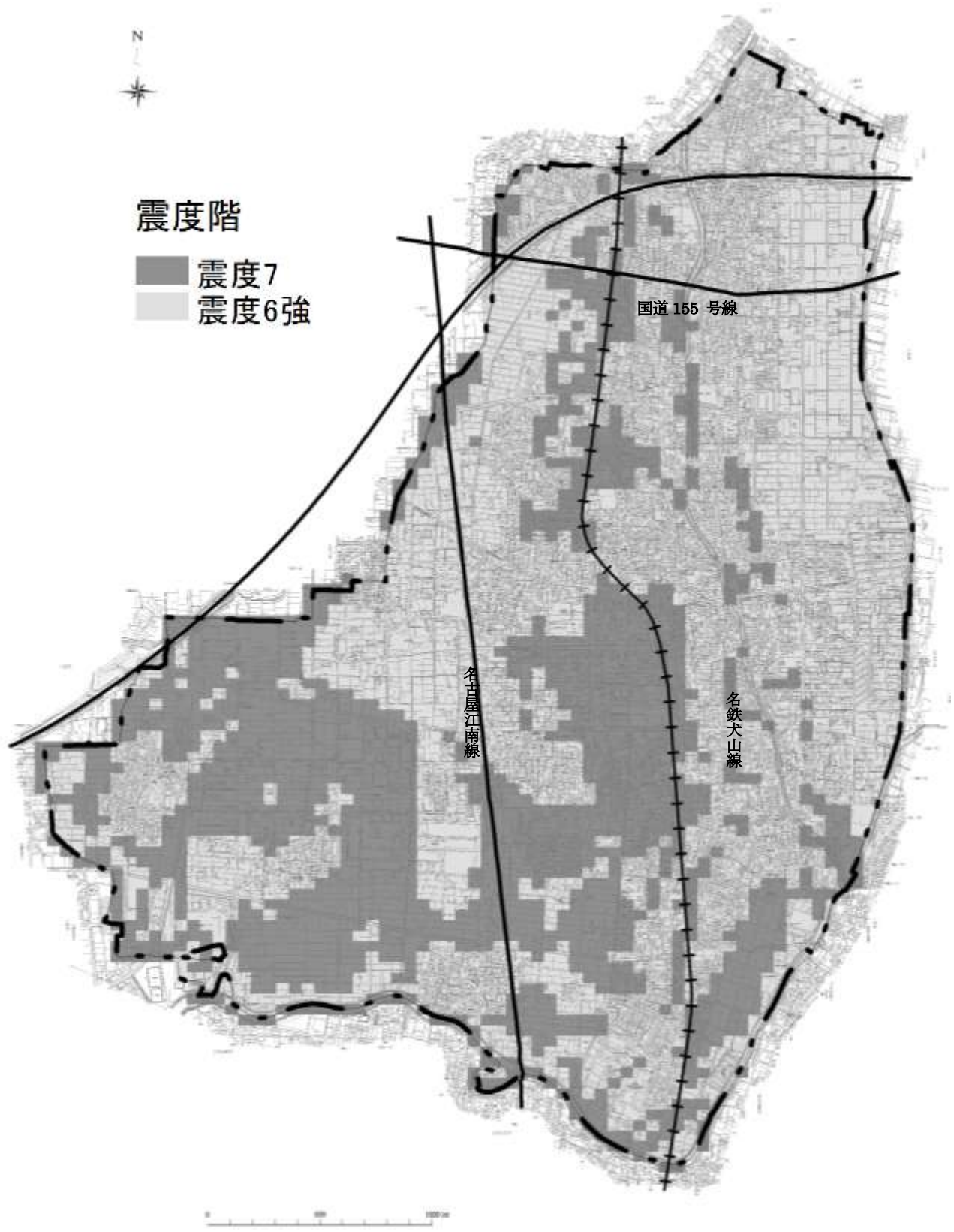
南海トラフ地震による震度分布図（理論上最大想定モデル：陸側ケース）

「平成 23 年度～25 年度 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書」

(2) 濃尾地震による震度分布図（平成7年度岩倉市基礎調査結果）



(3) 濃尾地震による震度分布図（平成 27 年度岩倉市基礎調査結果）



(4) 中部日本の地形概要と活断層



太実線はA級活断層。実線は主な活断層。点線部は推定部分。
ケバ側は相対的沈降側。接峰目面図は岡山（1960）による。

(6) 気象庁震度階級表

震度階級	最大化速度	人 間	屋 内 の 状 況	屋 外 の 状 況
0	ガル	人は揺れを感じない。		
1	0.8	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。		
2	2.5	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	
3	8.0	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。	棚にある食器類が、音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	25	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全をを図ろうとする。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。歩いている人も揺れを感じる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	80	多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。道路に被害が生じることがある。
5強		非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。
6弱	250	立っていることが困難となる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する、開かなくなるドアが多い。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
6強		立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	400	揺れにはんろうされ、自分の意志で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。

木 造 建 物	鉄筋コンクリート造建物	ライフライン	地 盤 ・ 斜 面
耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損するものがある。	耐震性の低い建物では、壁などに亀裂が生じるものがある。	安全装置が作動し、ガスが遮断される家庭がある。まれに水道管の被害が発生し、断水することがある。[停電する家庭もある。]	軟弱な地盤で、亀裂が生じることがある。山地で落石、小さな崩壊が生じることがある。
耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。	耐震性の低い建物では、壁、梁、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。耐震性の高い建物でも、壁などに亀裂が生じるものがある。	家庭などにガスを供給するための導管、主要な水道管に被害が発生することがある。[一部の地域でガス、水道の供給が停止し、停電することもある。]	
耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。	耐震性の低い建物では、壁や柱が破壊するものがある。耐震性の高い建物でも、壁梁、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。	家庭などにガスを供給するための導管、主要な水道管に被害が発生する。[一部の地域でガス、水道の供給が停止し、停電することもある。]	地割れや山崩れなどが発生することがある。
耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。	耐震性の低い建物では、倒壊するものがある。耐震性の高い建物でも、壁、柱が破壊するものがある。	ガスを地域に送るための導管、水道の配水施設に被害が発生することがある。[一部の地域で停電する。広い地域でガス、水道の供給が停止することがある。]	
耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。	耐震性の高い建物でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。	[広い地域で電気、ガス、水道の供給が停止する。]	大きな地割れ、地すべりや山崩れが発生し、地形が変わることもある。

※ ライフラインの [] の事項は、電気、ガス、水道の供給状況を参考として記載したものである。

(7) マグニチュード (M) と地震の程度

マグニチュード (M)	地震の程度	過去の大地震
9以上	・最大級の大地震	東北地方太平洋沖地震 (9. 0) (平23. 3. 11)
8. 5～9	・全世界を通じて、10年に1度位しか起こらない。	チリ地震 (8. 5) (昭35. 5. 23)
8～8. 5	・第1級の大地震 ・内陸に起こると大被害 ・海底に起こると大津波 ・日本付近で10年に1回位発生	平成6年北海道東方沖地震 (8. 1) (平6. 10. 4) 南海地震 (8. 0) (昭21. 12. 21) 三陸沖地震 (8. 1) (昭8. 3. 3) 濃尾地震 (8. 0) (明24. 10. 28)
7～8	・かなりの大地震 ・内陸に起こると大被害を生ずることがある。 ・海底に起こると津波を伴う。 ・日本付近で1年に1回位発生	熊本地震 (7. 3) (平28. 4. 16) 平成7年兵庫県南部地震 (7. 2) (平7. 1. 17) 平成6年三陸はるか沖地震 (7. 5) (平6. 12. 28) 平成5年北海道南西沖地震 (7. 8) (平5. 7. 12) 平成5年釧路沖地震 (7. 7) (平5. 1. 15) 日本海中部地震 (7. 7) (昭58. 5. 26) 浦河沖地震 (7. 1) (昭57. 3. 21) 宮城県沖地震 (7. 4) (昭53. 6. 12) 新潟地震 (7. 5) (昭39. 6. 16) 福井地震 (7. 1) (昭23. 6. 28) 東南海地震 (7. 9) (昭19. 12. 7) 関東地震 (7. 9) (大12. 9. 1)
6～7	・内陸に起こると (とくに震源が浅いとき。) 被害を生ずることがある。 ・日本付近で1年に10回位発生	鳥取県中部地震 (6. 6) (平28. 10. 21) 千葉県東方沖地震 (6. 7) (昭62. 12. 17) 長野県西部地震 (6. 8) (昭59. 9. 14) 三河地震 (6. 8) (昭20. 1. 17)
4～6	・被害を生ずることは、ほとんどない。時々感じる地震の大部分はこの程度のもの ・日本付近で1年に100回位発生	
3～4	・震源地の近くで人体に感じることもある。	
2以下	・高倍率の地震計によって観測される。	

注：過去の地震については、理科年表による。

(8) 過去の主な地震

県防災局防災課

年	地震名	マグニチュード	県内震度	愛知県内の被害状況
1498	明応地震 (海溝型)	8.6	V~VI	渥美半島では地割れを生じ、同時に大津波が来て人家が倒壊し、死者が出た。
1586	天正地震 (内陸型)	8.2	VI~VII	木曾川河口で島の沈没が多く、建物の倒壊も多く、津波の被害も大であった。死者約5千人。
1707	宝永地震 (海溝型)	8.4	VII	死者、建物倒壊、堤防決壊ともに多く、津波襲来による被害も多く、液状化現象も見られた。
1854	安政地震 (海溝型)	8.4	VI	津波の被害が大であった。死者約60人。住宅全半壊約3千戸。流出家屋約3千戸。
1891	濃尾地震 (内陸型)	8.0	VII	尾張地方に甚大な被害をもたらした。濃尾平野の広範囲で液状化現象が見られた。死者2,638人。住宅全半壊約7万1千戸。
1944	東南海地震 (海溝型)	7.9	VI	県下で大被害を生じた、各地で液状化現象が見られた。死者438人。住宅全半壊約2万6千戸。
1945	三河地震 (内陸型)	6.8	VII	西三河地方中心に大被害が生じた。死者2,306人。住宅全半壊約2万4千戸。

(9) 濃尾大地震による岩倉地内の被害

		岩倉村	幼村	豊秋村	島野村	計
戸数(戸)		747	517	421	239	1,924
人口(人)		3,337	2,642	2,008	1,163	9,150
人	死者	36	5	7	1	49
	負傷者	111	18	18	1	148
住家	全壊	576	190	159	62	987
	半壊	112	97	96	84	389
	大破	42	170	11	56	279
土蔵	全壊	72	12	7	5	96
	半壊	52	37	19	11	119
	大破	11	19	3	14	47
官公署	全壊	1		1		2
社寺	全壊	6	6	6	3	21
	半壊	1	1		2	4
学校	全壊	1			2	3
	半壊		1			1
その他	全壊	858	299	240	119	1,516
	半壊	140	68	105	108	421
	大破	31	144	33	76	284
出火		3	1		1	5

(9) 愛知県内で震度4以上を観測した地震(昭和元年～平成23年)

名古屋地方気象台

震度	年月日	時分	北緯	東経	震央地名	マグニチュード (地震の規模)
4	1927年 3月 7日	18時27分	35度32.0分	135度 9.0分	京都府北部	7. 3
4	1927年 3月 7日	18時44分	35度39.0分	135度17.0分	京都府北部	6. 3
4	1930年11月26日	4時 3分	35度 5.0分	139度 3.0分	伊豆半島東方沖	7. 3
5	1944年12月 7日	13時35分	33度48.0分	136度37.0分	紀伊半島沖 (南海地震)	7. 9
4	1945年 1月13日	3時38分	34度41.0分	137度 4.0分	三河湾 (三河地震)	6. 8
4	1945年 1月13日	3時40分	————	————	詳細不明	——
4	1946年12月21日	4時19分	33度32.0分	135度37.0分	紀伊半島沖 (南海道地震)	8. 0
4	1948年 6月15日	20時44分	33度45.0分	135度24.0分	和歌山県南部	6. 7
4	1948年 6月28日	16時13分	36度10.0分	136度12.0分	福井県嶺北地方	7. 1
4	1952年 7月18日	1時 9分	34度27.0分	135度47.0分	奈良県地方	6. 8
4	1961年 8月19日	14時33分	36度 1.0分	137度 4.0分	岐阜県美濃中西部 (北美濃地震)	7. 0
4	1963年 3月27日	6時34分	35度47.0分	135度46.0分	福井県沖 (越前岬沖地震)	6. 9
4	1969年 9月 9日	14時15分	35度47.0分	135度46.0分	岐阜県美濃中西部	6. 6
4	1971年 1月 5日	6時 8分	34度26.0分	137度10.0分	遠州灘	6. 1
4	1983年 3月16日	2時27分	34度47.3分	137度36.8分	静岡県西部	5. 7
5強	1997年 3月16日	14時51分	34度55.4分	137度31.6分	愛知県東部	5. 8
4	1998年 4月22日	20時32分	35度 9.9分	137度34.2分	岐阜県美濃中西部	5. 4
4	1999年 8月21日	5時33分	34度 2.5分	135度28.4分	和歌山県北部	5. 4
4	1999年11月29日	21時34分	35度 5.4分	137度 0.2分	愛知県西部	4. 7
5弱	2000年10月31日	1時42分	34度17.0分	136度20.7分	三重県中部	5. 5
4	2001年 2月23日	7時23分	34度44.6分	137度33.8分	静岡県西部	4. 9
4	2001年 4月 3日	23時57分	34度59.7分	138度 6.5分	静岡県中部	5. 1
4	2001年 9月27日	18時14分	34度52.0分	137度 7.0分	愛知県西部	4. 3
4	2003年 7月 9日	2時14分	34度54.4分	136度50.9分	伊勢湾	4. 1
4	2011年3月11日	14時46分	38度 1.0分	142度 9.0分	三陸沖	9. 0

(注1) 平成9年11月9日までは愛知県内にある気象庁震度観測点の中で最も大きかった震度、平成9年11月10日以降は気象庁震度観測点及び地方公共団体の震度観測点の中で最も大きかった震度である。

(注2) 「震度5」および「震度6」は、平成8年10月からこれを2つに分けて、それぞれ「震度5弱」、「震度5強」および「震度6弱」、「震度6強」となった。

(注3) 発生日時分、緯度、経度、マグニチュードは次の資料によった。ただし、震央地名は現在、地震情報等で用いられているものに統一した。

昭和35年以前：地震月報別冊第6号、昭和35年1月～平成9年9月：地震月報各号、

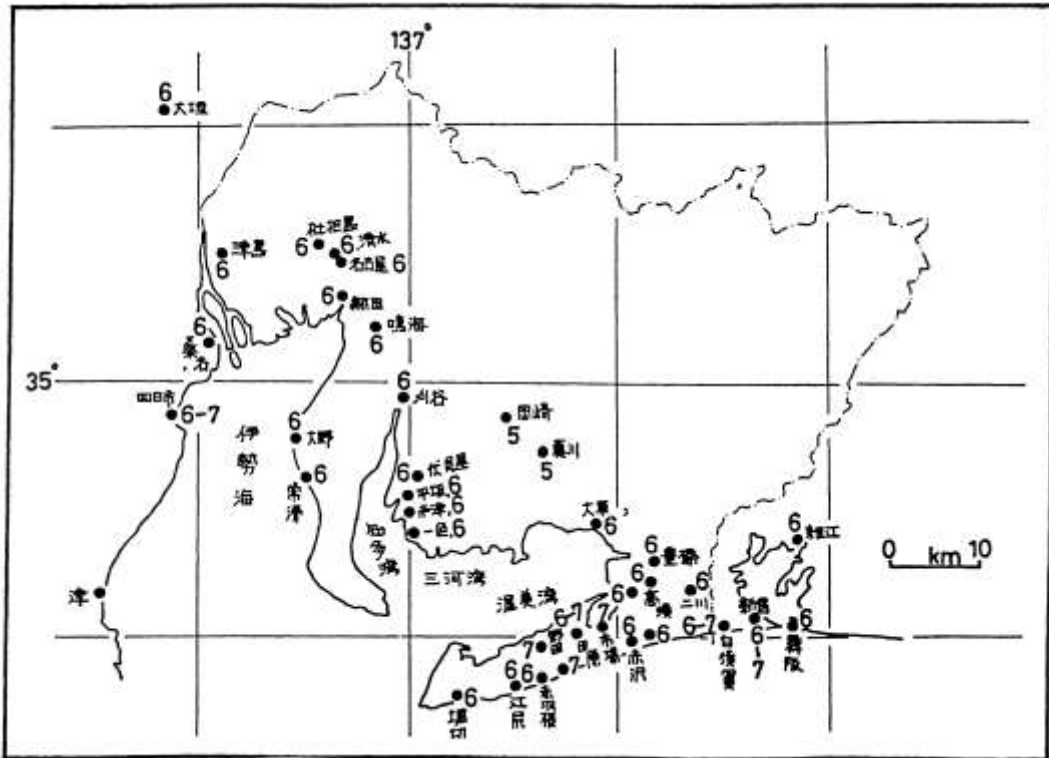
平成9年10月以降：火山月報(カタログ編)各号

(注4) 括弧内には地震名を示した。

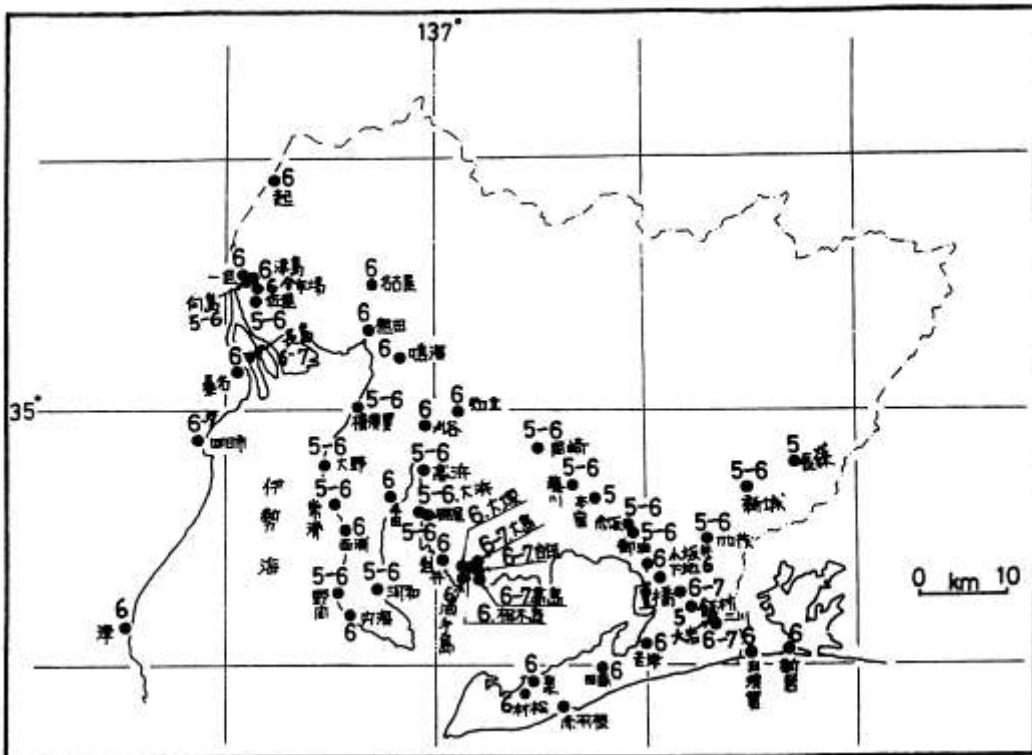
主要地震の震度分布図

(飯田汲事名古屋大学名誉教授作成)

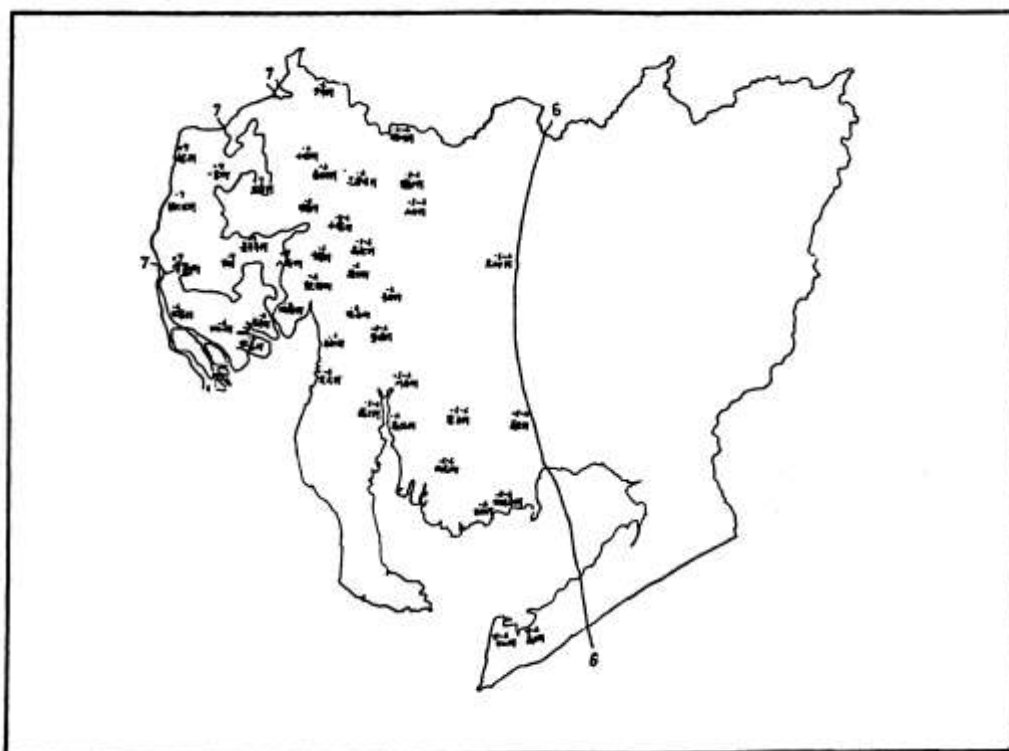
1707年 宝永地震



1854年 安政地震



1891年 濃尾地震



1944年 東南海地震



1945年 三河地震



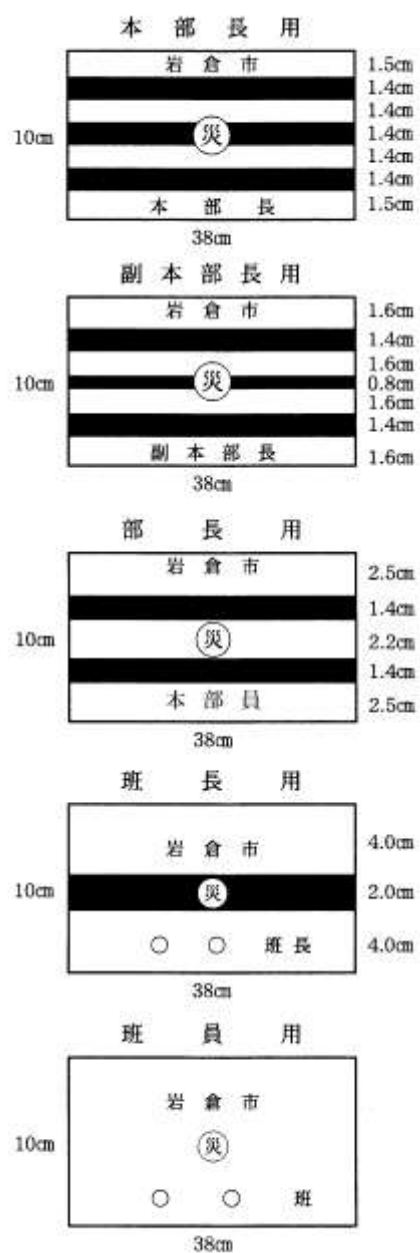
第3 災害対策本部

1 標識等

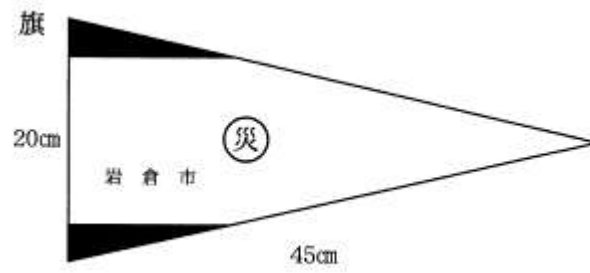
(1) 本部の標示板



(2) 腕章



(3) 旗
自動車



(4) ヘルメット

ヘルメット

本部長用

副本部長用

本部員用

班長・班員用



線の太さ 上7ミリ
中7ミリ
下7ミリ

上7ミリ
中4ミリ
下7ミリ

上4ミリ
下4ミリ

4ミリ

第4 防災上必要な施設・設備等

1 消防施設・設備等

(1) 保有消防力

令和7年4月1日現在

消防本部・消防署		消防団	
車種名	台数	車種名	台数
消防ポンプ自動車	2	消防ポンプ自動車	2
水槽付消防ポンプ自動車	2	小型動力ポンプ付積載車	2
はしご付消防自動車	1	小型動力ポンプ付軽四輪駆動消防車	1
化学消防ポンプ自動車	1	/	/
小型動力ポンプ付水槽車	1		
救助工作車	1		
高規格救急自動車	3		
指令車	1		
指揮車	1		
広報車	1		
資機材搬送車	1		
計	15		

(2) 耐震性防火水槽

令和7年4月1日現在

	設置場所	所在地	容量 (m ³)	飲料水兼用の別
1	中央公園	中央町二丁目 20	100	兼用
2	東町会館	東町東市場屋敷 353	40	
3	ヒューマンアイランド	新柳町1丁目 35の1	40	
4	南部中学校西	大市場町郷前 294	40	
5	八幡社南	鈴井町中島 16-3	40	
6	白山公園	中本町出口白山 10-1	40	
7	コープ野村壺番街	新柳町一丁目 35の3	40	
8	ふれあいセンター	西市町無量寺 2-1	40	
9	御土井公園	稲荷町羽根 10	40	
10	岩倉中学校	西市町竹之宮 24	40	
11	船橋楽器南	八剣町石橋	40	
12	犬飼タオル総合センター	大地町深田 24-25	40	
13	濃飛倉庫運輸株式会社	八剣町野畑 19	40	
14	消防署	川井町北穴田 119	100	兼用
15	八剣信号交差点北	八剣町郷 70-1	40	
16	城址公園	下本町城址 36-2	40	
17	岩倉団地 2 3 棟東	東新町仲浦 1-1	40	
18	野村ステイツ五条川	下本町天神塚 38-1	40	
19	川井町公会堂	川井町井上 35	40	
20	坂折神社北	大地町郷内 1226	40	
21	地域交流センター(くすのきの家)	中本町西出口 21-1	40	
22			40	
23	ピアゴ八剣店	八剣町長野 1-3	40	
24			40	
25	浅田速算学会前	下本町城址 143-8	40	
26	川井町郷浦	川井町井上 64 番地 1	40	
27	クラウド岩倉	下本町下市場 136-2	40	
28	オオサキメディカル株式会社	北島町白山 18	40	
29	ジャパンフーズ物流	北島町中野田 5	40	
30	サクラランド岩倉	本町神明西 20	60	
31	八剣岩塚信号交差点	八剣町岩塚 14-1	40	
32	第7児童館	曾野町花ノ木 57	40	
33	株式会社栗本工業	北島町下河戸 10	40	
34	水野精麦倉庫株式会社	北島町白山 3-1	40	
35	諸星運輸株式会社	北島町米野 56	40	
36	学校給食センター	大地町下塚田 2-1	40	
37	丸久運輸株式会社	北島町エヒスキ 2	40	
38	オンテック株式会社	北島町寺田	40	
39	日本コーティングセンター	北島町トウカン 31	40	

40	三井不動産株式会社ロジスティクスパーク名古屋岩倉	岩倉市川井町下田南地先	40	
41			40	
42			20	

(3) 管区別水利状況

令和7年4月1日現在

種別 管区別	防 火 水 槽	防 火 水 槽		プ ー ル 等	消 火 栓	計
		4 0 m ³ 未 満	耐 震 性 飲 用 料 水 兼 用			
第 1 管 区	1 5				1 6	3 1
第 2 管 区	1 0			2	2 8	4 0
第 3 管 区	1 3			1	2 3	3 7
第 4 管 区	1 5			1	3 5	5 1
第 5 管 区	1 9	1	1	3	3 7	6 1
第 6 管 区	1 0		1	1	3 4	4 5
第 7 管 区	2 2				2 7	4 9
計	1 0 4	1	2	8	2 0 0	3 1 5

2 通信・設備等

(1) 消防用無線局配置表

消 防 用 無 線	陸上移動局	44	いわくら 1	化学消防ポンプ自動車
			いわくら 2	水槽付消防ポンプ自動車
			いわくら 3	水槽付消防ポンプ自動車
			いわくら 4	消防ポンプ自動車
			いわくら 5	小型動力ポンプ付水槽車
			いわくら 6	消防ポンプ自動車
			いわくら 31	はしご付消防自動車
			いわくら 51	指令車
			いわくら 61	指揮車
			いわくら 71	救助工作車
			きゅうきゅういわくら 1	高規格救急自動車
			きゅうきゅういわくら 2	高規格救急自動車
			きゅうきゅういわくら 3	高規格救急自動車
			いわくら 100	卓上型
			いわくら 101	可搬型
			いわくら 201~204	携帯型
			いわしょう 401~420 501~505	署活系

3 避難場所

(1) 指定緊急避難場所一覧

NO	名称	所在地	災害種別		
			地震	大規模な火災	洪水・内水氾濫
1	井上会館	井上町東畑田 156 番地 1	-	-	建物内
2	天王公園	石仏町天王 11 番地	公園内広場	-	-
3	五条川小学校	神野町郷浦 18 番地	グラウンド	グラウンド	-
4	石仏会館	石仏町中屋敷 597 番地 1	-	-	建物内
5	八劔会館	八劔町郷 81 番地 1	-	-	建物内
6	下り松公園	八劔町下り松 60 番地	公園内広場	-	-
7	神野会館	神野町平久田 41 番地	-	-	建物内
8	八劔憩いの広場	八劔町樋口 1 番地 1	公園内広場	公園内広場	-
9	さくらの家	八劔町下池田 806 番地 1	-	-	建物内
10	石仏スポーツ広場	石仏町五山寺 1 番地	公園内広場	公園内広場	-
11	中野会館	東町馬出 58 番地 2	-	-	建物内
12	泉会館	泉町西新溝廻間 1 番地 7	-	-	建物内
13	岩倉北小学校	本町南新溝廻間 2	グラウンド	グラウンド	校舎、体育館
14	中部保育園	本町畑中 65 番地	-	-	建物内
15	総合体育文化センター	鈴井町下新田 123 番地	駐車場	-	建物内
16	天神公園	宮前町二丁目 69 番地	公園内広場	-	-
17	大上市場会館	宮前町一丁目 2 番地	-	-	建物内
18	東町会館	東町東市場屋敷 351 番地 1	-	-	建物内
19	長瀬公園	東町東出口 23 番地	公園内広場	-	-
20	岩倉中学校	西市町竹之宮 24 番地	グラウンド	グラウンド	校舎、体育館、 武道館
21	ふれあいセンター	西市町無量寺 2 番地 1	-	-	建物内
22	睦公園	新柳町二丁目 46 番地	公園内広場	-	-
23	岩倉市役所	栄町一丁目 66 番地	-	-	建物内
24	生涯学習センター	本町神明西 20 番地	-	-	建物内
25	神明ふれあい広場	中本町西出口 4 番地	公園内広場	-	-
26	くすのきの家	中本町西出口 15 番地 1	駐車場	-	建物内
27	白山公園	中本町出口白山 10 番地 1	公園内広場	-	-
28	大矢公園	栄町二丁目 40 番地	公園内広場	-	-

NO	名称	所在地	災害種別		
			地震	大規模な火災	洪水・内水氾濫
29	岩倉東小学校	東町掛目1番地	グラウンド	グラウンド	-
30	岩倉総合高等学校	北島町川田1番地	グラウンド	グラウンド	体育館、武道館
31	中央公園	中央町二丁目20番地	公園内広場	公園内広場	-
32	みどりの家	中央町二丁目20番地	-	-	建物内
33	保健センター	旭町一丁目20番地	-	-	建物内
34	北島町公会堂	北島町宮東1297番地	-	-	建物内
35	野寄スポーツ広場	野寄町火吹6番地	公園内広場	-	-
36	史跡公園	大地町野合51番地	公園内広場	-	-
37	南部保育園	大地町小森5番地	-	-	建物内
38	岩倉南小学校	大地町小森93番地1	グラウンド	グラウンド	校舎、体育館
39	南部老人憩の家	大地町郷前32番地	-	-	建物内
40	図書館	昭和町二丁目17番地	-	-	建物内
41	市民プラザ	昭和町二丁目17番地	-	-	建物内
42	辻田公園	昭和町二丁目16番地	公園内広場	-	-
43	お祭り広場	下本町下市場3番地1	公園内広場	-	-
44	下寺保育園	下本町下寺廻107番地1	-	-	建物内
45	大市場町公会堂	大市場町郷廻184番地3	-	-	建物内
46	岩倉南部中学校	曾野町江毛1番地	グラウンド	グラウンド	-
47	第四児童館	稲荷町羽根24番地3	-	-	建物内
48	御土井公園	稲荷町羽根10番地	公園内広場	-	-
49	曾野町公会堂	曾野町宮前1番地	-	-	建物内
50	曾野小学校	曾野町井森1番地	グラウンド	グラウンド	-
51	国衙公園	大山寺元町2番地	公園内広場	-	-
52	防災コミュニティセンター	大山寺元町8番地7	-	-	建物内

(2) 広域避難場所一覧表

番号	学 校 下	施 設 名	所 在 地	電話番号	面 積 (㎡)	収容可能人員 (人)
1	五条川小学校下	五条川小学校グラウンド	神野町郷浦 1 8	66-3125	7,950	3,975
		八刃憩いの広場	八刃町樋口 1 番地 1		9,337	4,668
		石仏スポーツ広場	石仏町五山寺 1 番地		13,122	6,561
2	東小学校下	東小学校グラウンド	岩倉市東町掛目 1	66-2311	7,976	3,988
3	北小学校下	北小学校グラウンド	岩倉市本町南新溝廻間 2	37-1221	8,791	4,395
		岩倉中学校グラウンド	岩倉市西市町竹之宮 2 4	37-1208	14,680	7,340
4	南小学校下	南小学校グラウンド	岩倉市大地町小森 9 3 番地 1	66-1008	5,301	2,650
		岩倉総合高等学校グラウンド	岩倉市北島町川田 1	37-4141	26,272	13,136
5	曾野小学校下	曾野小学校グラウンド	岩倉市曾野町井森 1	66-3214	9,959	4,979
		南部中学校グラウンド	岩倉市曾野町江毛 1	66-3181	15,064	7,532

(3) 避難施設及び収容人員一覧表

番号	学校下	施設名	所在地	電話番号	無線 呼び出し名称	施設の収容可能人員		
						種類別	長期	一時
1	五条川小学校下	五条川小学校(校舎)	岩倉市神野町郷浦 18 番地	66-3125	いわくら 112	鉄筋 3	433	1,300
		五条川小学校(体育館)	岩倉市神野町郷浦 18 番地	66-3125		鉄骨 2	133	400
		五条川放課後児童クラブ施設	岩倉市神野町郷浦 18 番地	66-3125		鉄骨 2	49	147
		井上会館	岩倉市井上町東畑田 156 番地 1			鉄筋 1		70
		八剣会館	岩倉市八剣町郷 81 番地 1	81-4941		鉄筋 2	63	190
		多世代交流センター (さくらの家)	岩倉市八剣町下池田 806 番地 1			鉄筋 2	123	370
		石仏会館	岩倉市石仏町中屋敷 597 番地 1			鉄筋 2	56	170
		神野会館	岩倉市神野町平久田 41 番地			鉄筋 1		80
2	東小学校下	東小学校(校舎)	岩倉市東町掛目 1 番地	66-2311	いわくら 113	鉄筋 3	533	1,600
		東小学校(体育館)	岩倉市東町掛目 1 番地	66-2311		鉄骨 2	153	460
		東新町公会堂	岩倉市東新町釜之口 1 番地 1			鉄筋 3	66	200
		第五児童館	岩倉市東新町南江向 24 番地 5	66-0817		鉄筋 8	86	260
		子ども発達支援施設 (あゆみの家)	岩倉市東町仙奈 158 番地	66-5901		鉄骨 1	30	90
		いわくら福祉会 (第 1 みのりの里) (第 2 みのりの里)	岩倉市東町仙奈 180 番地	66-5001		鉄筋 2		20 20
3	北小学校下	市役所	岩倉市栄町一丁目 66 番地	66-1111	いわくら 114	鉄骨 8		400
		北小学校(校舎)	岩倉市本町南新溝廻間 2 番地	37-1221		鉄筋 3	683	2,050
		北小学校(体育館)	岩倉市本町南新溝廻間 2 番地	37-1221		鉄骨 2	299	898
		岩倉中学校(校舎)	岩倉市西市町竹之宮 24 番地	37-1208		鉄筋 3	816	2,450
		岩倉中学校(体育館)	岩倉市西市町竹之宮 24 番地	37-1208		鉄骨 2	163	490
		岩倉中学校(武道館)	岩倉市西市町竹之宮 24 番地	37-1208			133	400
		総合体育文化センター	岩倉市鈴井町下新田 123 番地	66-2222		鉄筋 3	796	2,389
		中部保育園	岩倉市本町畑中 65 番地	37-0416		鉄筋 2	43	130
		岩倉市ふれあいセンター	岩倉市西市町無量寺 2 番地 1	37-3135		鉄筋 3	93	280
		中野会館	岩倉市東町馬出 58 番地 2			鉄筋 1		80
		東町会館	岩倉市東町東市場屋敷 351 番地 1			鉄筋 2	56	170
		大上市場会館	岩倉市宮前町一丁目 2 番地			鉄筋 2	56	170
		泉会館	岩倉市泉町西新溝廻間 1 番地 7			鉄筋 2		50
		J A 愛知北岩倉支店	岩倉市本町神明西 11 番地	37-3111		鉄筋 3	66	200
		地域交流センター (くすのきの家)	岩倉市中本町西出口 15 番地 1	38-1106		鉄筋 2	78	235
生涯学習センター	岩倉市本町神明西 20 番地	38-0100	鉄筋	286	860			
4	南小学校下	南小学校(校舎)	岩倉市大地町小森 93 番地 1	66-1008	いわくら 115	鉄筋 3	706	2,120
		南小学校(体育館)	岩倉市大地町小森 93 番地 1	66-1008		鉄骨 2	123	370
		岩倉総合高等学校(武道館)	岩倉市北島町川田 1 番地	37-4141		鉄筋 2	100	300
		岩倉総合高等学校(体育館)	岩倉市北島町川田 1 番地	37-4141		鉄筋 2	373	1,120

番号	学校下	施設名	所在地	電話番号	無線 呼び出し名称	施設の収容可能人員		
						種類別	長期	一時
4	南小学校下	南部老人憩の家	岩倉市大地町郷前 32 番地	37-0497		鉄筋 1	33	100
		岩倉市民プラザ	岩倉市昭和町二丁目 17 番地	37-0257		鉄筋 2	113	340
		岩倉市保健センター	岩倉市旭町一丁目 20 番地	37-3511		鉄筋 3	93	280
		地域交流センター (みどりの家)	岩倉市中央町二丁目 20 番地	66-6700		鉄筋 2	90	270
		野寄町公会堂	岩倉市野寄町屋敷 922 番地			鉄筋 2	33	100
		川井町公会堂	岩倉市川井町井上 1308 番地			鉄筋 2	53	160
		北島町公会堂	岩倉市北島町宮東 1297 番地			鉄筋 1		130
		図書館	岩倉市昭和町二丁目 17 番地	37-6804		鉄筋 3	110	331
		南部保育園	岩倉市大地町小森 5 番地	37-2605		鉄筋 2	66	200
		岩倉一期一会荘 (花むすび)	岩倉市北島町二本木 7 番地			鉄筋	20	60
						20	60	
5	曾野小学校下	曾野小学校(校舎)	岩倉市曾野町井森 1 番地	66-3214	いわくら 116	鉄筋 4	646	1,940
		曾野小学校(体育館)	岩倉市曾野町井森 1 番地	66-3214		鉄骨 2	173	520
		南部中学校(校舎)	岩倉市曾野町江毛 1 番地	66-3181		鉄筋 4	533	1,600
		南部中学校(体育館)	岩倉市曾野町江毛 1 番地	66-3181		鉄骨 2	180	540
		南部中学校(武道館)	岩倉市曾野町江毛 1 番地	66-3181			136	410
		下寺保育園	岩倉市下本町下寺廻 107 番地 1	66-3309		鉄筋 2	53	160
		大市場町公会堂	岩倉市大市場町郷廻 184 番地 3			鉄筋 2	50	150
		曾野町公会堂	岩倉市曾野町宮前 1 番地			鉄筋 2	46	140
		第四児童館	岩倉市稲荷町羽根 24 番地 3	37-6815		鉄筋 1	56	170
		第三児童館	岩倉市下本町下市場 2 7 番地	37-3832		鉄筋 2	70	210
		防災コミュニティセンター	岩倉市大山寺元町 8 番地 7			鉄筋 2	60	180
		るどこの泉	岩倉市曾野町 3 番地			鉄筋	30	
		計						

下水道直結型マンホールトイレ設置箇所

- ・北小学校
- ・東小学校
- ・南小学校
- ・岩倉中学校
- ・南部中学校

4 救急施設・設備等

(1) 救急病院

名 称	所 在 地	診 療 科 目	電話番号	病床数
岩倉病院	川井町北海戸1	胃腸科、外科、整形外科、こう門科、麻酔科、 内科、循環器科、リハビリテーション科、 脳神経外科、泌尿器科	37-8155	141

(2) 市の医療施設

名 称	所 在 地	電話番号	病床数
岩倉市休日急病診療所	旭 町 一 丁 目 2 0	66-4708	0

5 救出用資材一覧表

(1) 一般救助器具

品 名	数量
かぎ付はしご	2
二連はしご	2
三連はしご	4
ワイヤはしご	1
空気式救助マット	1
救命索発射銃	1
ピタゴール又は救助用縛帯	9
平担架	5
ロープ	19
カラビナ	52
滑車・山岳資器材	12

(2) 切断用器具

品 名	数量
エンジンカッター	6
酸素溶断機	1
チェンソー	5
鉄線カッター	3
空気鋸	1
大型油圧切断機(ルーカス)	1
万能はさみ	5
指輪専用切断機	2

(3) 重量物排除用器具

品 名	数量
可搬ウィンチ	2
ワイヤーロープ	10
マンホール救助器具	1
マット型空気ジャッキ式	1
大型油圧スプレッター(ホルマトロ)	1
クレーン(2.9t)	1
車両取付ウィンチ(5t)	2

(4) 破壊用器具

品 名	数量
万能斧	10
ハンマー	5
バール	13
スコップ	9
携帯用コンクリート破壊器具	1
削岩機	1
鳶口	17

(5) 測定用器具

品 名	数量
可燃性ガス測定器	1
放射線測定器	1
警報付ポケット線量計	15

(6) 呼吸保護用器具

品名	数量
空気呼吸器	27
防塵マスク	39
送排風機	1
エアライン装置	1

(7) 隊員用保護具

品名	数量
耐電手袋	4
耐電衣	4
耐電ズボン	4
耐電長靴	4
防毒衣(補助用2)	6
保護メガネ	10
携帯警報器	8
防毒マスク	16
耐熱服	4
放射線防護服	3

(8) 水難救助用器具

品名	数量
救命胴衣	42
救命浮環	3
救命ボート	3
船外機	1

(9) 検索用器具

品名	数量
簡易画像探索機	1
簡易探索機用ガイドパイプ	1
夜間監視用暗視スコープ	1

(10) その他の救助用器具

品名	数量
車両投光器	20
投光器	4
携帯投光器	23
携帯拡声器	11
携帯無線機	15
応急処置用セット	3
車両移動器具	3
緩降機	1
ロープ登降機	1
発電機	4

6 市所有車両

令和7年3月31日現在

	行政課	協働安全課	健康課	環境保全課	上下水道課	学校給食センター 学校教育課	計
普通貨物自動車 (1ナンバー等)	1			1		3	5
普通乗合自動車 (中型バス)	1						1
普通乗用車 (3ナンバー乗用車)	5						5
軽自動車	7		3		1		11
小型貨物自動車 (4ナンバー等)	5	1		2	3		11
小型四輪自動車 (5ナンバー乗用車)	3						3
特殊車両車 (塵芥車等)	1			3	1		5
計	23	1	3	6	5	3	41

7 ヘリポート可能箇所

区分 市町村名	所在地	名称	電話番号	施設等 管理者	面積 (㎡)	至近利 までの 距離 (m)	経度(東経)			緯度(北緯)			機種別			備考(広さ) 幅(m)× 長さ(m)
							度	分	秒	度	分	秒	大型	中型	小型	
岩倉市 (1か所)	北島町 川田1	岩倉総合 高等学校	(0587) 37-4141	学校長	27,968	20	136	51	25	35	16	29			○	170×150

第5 必需物資の備蓄及び調達、応急仮設住宅等

1 食品及び生活必需品

(1) 防災備蓄倉庫所在地一覧

備 蓄 倉 庫		所 在 地
防 災 備 蓄 倉 庫	(市役所)	栄町一丁目6番地
防 災 備 蓄 倉 庫	(消防本部)	川井町北穴田1番地
防 災 備 蓄 倉 庫	(五条川小学校)	神野町郷浦1番地
防 災 備 蓄 倉 庫	(北小学校)	本町南新溝廻間2番地
防 災 備 蓄 倉 庫	(東小学校)	東町掛目1番地
防 災 備 蓄 倉 庫	(南小学校)	大地町小森9番地
防 災 備 蓄 倉 庫	(曾野小学校)	曾野町江毛1番地
防災コミュニティセンター	(大山寺町)	大山寺元町8番地
防 災 備 蓄 倉 庫	(中野町)	中野町御山寺3番地
防 災 備 蓄 倉 庫	(稲荷町羽根)	稲荷町羽根1番地

(2) 物資備蓄・調達状況

種 別	品 名	備 蓄 数
救 助 出 器 具	救 助 用 ゴ ム ボ ー ト	2
	アルミ製折畳みボート(船外機)	1
	救 命 胴 衣	20
	発 電 機	11
	投 光 機	49
	バルーン型投光機	5
	コードリール	39
	エンジンカッター	2
	スチールチェーンソー	2
	ジャッキ	5
	ボルトクリッパー	10
	バール	56
	斧	55
	スコップ	59
	ノコギリ	55
	金槌・釘・針金セット	59
	救助道具セット	12
	ハンドマイク	22
	ヘルメット	350
ポータライト	22	
強力ライト	56	
トラロープ(25m)	30	

種別	品名	備蓄数
生活必需品	防災テント（生活可能型）	40
	敷マット（人数）	1,050
	かまどセット	30
	仮設トイレ (六角トイレ)	12 障 6
	貯留型仮設トイレ (マンホールトイレ)	12 障 11
	簡易トイレ（ポータブル型）	120
	手すり付きポータブルトイレ	16
	簡易バケツ	100
	雨合羽	250
	長靴	185
	軍手	2,000
	ビニールシート	138
	毛布	2,600
	ローソク・乾電池	240
	携帯ラジオ	12
	紙皿・紙コップ・箸セット	6,650
	タオル	700
	間仕切り	71セット
	簡易ベッド	60
	車椅子	19
スロープ	7	
食糧品	粉ミルク	20
	白粥	2,450
	ミネラルウォーター	10,536
	レトルト系食品（アルファ米など）	15,500
	ライスクッキー	96
給水用具	ろ水機	5
	折畳みポリ容器	1,380
	ウォーターバルーン	3,000 ^個 2 1,000 ^個 3
救急用品	担架	12
	救急セット（50人用）	12
	血圧計	5
	聴診器	5
	三角巾	1,250

種別	品名	備蓄数
その他資機材	車両移動器具	12
	折畳みリヤカー	5
	水中ポンプ	24
	土のう袋	11,000
	バリーケーボード	115

2 応急仮設住宅等

(1) 応急仮設住宅の建設場所及び建設可能戸数

場所	有効面積(m ²)	建設可能戸数
八劔憩いの広場 (八劔町樋口)	8,000	74
白山公園 (中本町出口白山)	2,000	18
中央公園 (中央町二丁目)	6,000	56
御土井公園 (稲荷町御土井)	2,000	15
石仏スポーツ広場 (石仏町五山寺1)	6,200	62
野寄スポーツ広場 (野寄町火吹6)	4,500	37

(2) 災害廃棄物仮置き場

土地の所在地	野寄スポーツ広場(野寄町火吹6)
使用可能面積	7,500m ²

(3) 救助活動拠点候補地

施設名称	所在地	主な用途
岩倉中学校	岩倉市西市町竹之宮 24 番地	自衛隊
八劔憩いの広場	八劔町樋口 1 番地 1	警察、消防
石仏スポーツ広場	石仏町五山寺 1	消防

(4) 物資拠点候補地

施設名称	所在地	施設所有者	施設管理者
日本通運株式会社 名古屋ロジスティクス支店	新小木 1 丁目 31 番地	グローバル・ロジスティックス・プロパティーズ株式会社	日本通運株式会社
石塚硝子株式会社 岩倉工場	岩倉市川井町 1880 番地	石塚硝子株式会社	石塚硝子株式会社
岩倉市総合体育文化センター	岩倉市鈴井町下新田 123	岩倉市	岩倉市

第6 浸水想定区域内にある要配慮者施設

施設名称	所在地	施設種別
多機能型児童発達支援センターベース	岩倉市西市町榎東37番地1	障害福祉施設
おりーぶおりーぶ岩倉	岩倉市東町長山78番地	障害福祉施設
子ども発達支援施設 あゆみの家	岩倉市東町仙奈158番地	障害福祉施設
ふれんず岩倉	岩倉市大市場町順喜81番地	障害福祉施設
こるり	岩倉市中本町南加路桶16番地5	障害福祉施設
はじめ	岩倉市東町藤塚51	障害福祉施設
いいわーくす	岩倉市下本町下市場141番地1	障害福祉施設
い〜まL&O. C. S岩倉	岩倉市下本町下市場200番地2	障害福祉施設
さくら・ワーク	岩倉市東町東市場屋敷201番地	障害福祉施設
Revival。	岩倉市栄町一丁目13番地	障害福祉施設
ハンドメイド	岩倉市石仏町石川6番地	障害福祉施設
第1みのりの里	岩倉市東町仙奈180番地	障害福祉施設
第2みのりの里	岩倉市東町仙奈170番地	障害福祉施設
グループホームみのり すずいホーム	岩倉市鈴井町中島123番地	障害福祉施設
グループホームみのり さくらホーム	岩倉市東町仙奈166番地	障害福祉施設
グループホームゆめゆめ岩倉	岩倉市西市町無量寺43番地8	障害福祉施設
メルシーわん岩倉	岩倉市大市場町郷前209番地	障害福祉施設
リアン	愛知県岩倉市野寄町馬伏14番地	障害福祉施設
ふれんず岩倉北	岩倉市鈴井町立切140番地	障害福祉施設
児童デイサービス LAKI	岩倉市西市町無量寺35番地1ブライトンハイツ1F A号	障害福祉施設
チャイルドウイッシュ岩倉	岩倉市中本町川添22番地1	障害福祉施設
IWAKURA Vamos!	岩倉市本町門前13番地7	障害福祉施設
Recovery Step Re. Fine	愛知県岩倉市栄町二丁目81番地	障害福祉施設
ハートパーク RED	愛知県岩倉市神野町縄境34	障害福祉施設
CLASSIC. h. WORKS	愛知県岩倉市大地新町3-45-1	障害福祉施設
A. I. ワークス岩倉	岩倉市本町神明西6-8アパートメントハウス木の樹1F西	障害福祉施設
ほたるの里 岩倉幼郷	愛知県岩倉市大市場町順喜110番地4	障害福祉施設
ほたるの里 ホープ岩倉	愛知県岩倉市下本町下市場52番地	障害福祉施設
わおん岩倉	愛知県岩倉市下本町下市場52番地	障害福祉施設
岩倉病院	岩倉市川井町北海戸1	病院・診療所
大野レディースクリニック	岩倉市稲荷町高畑10	病院・診療所
ようてい中央クリニック	岩倉市曾野町郷前17	病院・診療所
中部保育園	岩倉市本町畑中65番地	児童福祉施設
北部保育園	岩倉市石仏町稲葉144番地24	児童福祉施設
南部保育園	岩倉市大地町小森5番地	児童福祉施設
東部保育園	岩倉市大市場町順喜11番地	児童福祉施設
西部保育園	岩倉市西市町二本木19番地8	児童福祉施設
仙奈保育園	岩倉市東町仙奈158番地	児童福祉施設
下寺保育園	岩倉市下本町下寺廻107番地1	児童福祉施設

こどもの森保育園	岩倉市曾野町宮前35番地	児童福祉施設
こどものまち保育園	岩倉市本町一丁田27番地2	児童福祉施設
曾野第二幼稚園子どもの庭保育園	岩倉市稲荷町大摩46番地	児童福祉施設
岩倉北幼稚園	岩倉市神野町平久田31番地	教育施設
ゆうか幼稚園	岩倉市東町掛目158番地	教育施設
岩倉幼稚園	岩倉市中央町1丁目45-1	教育施設
曾野幼稚園	岩倉市曾野町宮前402	教育施設
ゆうか さいち保育室	岩倉市西市町東畑田38番地3	教育施設
特別養護老人ホーム 岩倉一期一会荘	岩倉市北島町二本木7	老人福祉施設
特別養護老人ホーム 岩倉一期一会荘 花むすび	岩倉市北島町七反田15番地	老人福祉施設
ケアハウスいわくら	岩倉市北島町二本木7	老人福祉施設
岩倉ケアセンターそよ風	岩倉市八剣町大門出先29-1	老人福祉施設
サントピア岩倉	岩倉市東町長山89番地	老人福祉施設
岩倉一期一会デイサービスセンター	岩倉市北島町二本木7番地	老人福祉施設
デイサービスセンターさんえす	岩倉市中央町三丁目70番地 フラワーハイツ 1F	老人福祉施設
デイサービスライフケア岩倉	岩倉市八剣町大塚2番1	老人福祉施設
森の音リハビリデイサービス	岩倉市八剣町井ノ下9番1	老人福祉施設
岩倉デイサービスセンター・ちあき	岩倉市中本町中市場2番地1	老人福祉施設
デイサービスセンター・優悠の家	岩倉市石仏町角畑5-1	老人福祉施設
住宅型有料老人ホーム滞	岩倉市八剣町道光28番地	老人福祉施設
ゆうゆう未来館 岩倉	岩倉市中野町中野12番地	老人福祉施設
ゴールドエイジ岩倉	岩倉市野寄町一町田7	老人福祉施設
グループホームいわくらの泉	岩倉市八剣町井ノ下20番地	老人福祉施設
グループホーム岩倉一期一会荘	岩倉市北島町七反田35番地	老人福祉施設
中央グループホーム和	岩倉市新柳町1丁目44番地	老人福祉施設
グループホームチアフル虹明かり・里明かり	岩倉市大市場町郷廻310番地	老人福祉施設
デイケアセンターかみの	岩倉市神野町平久田70番地	老人福祉施設
中央デイケアセンターA&N	岩倉市新柳町1丁目44番地	老人福祉施設
デイケアセンターしらゆりの里	岩倉市曾野町郷前3番地	老人福祉施設
岩倉病院通所リハビリテーション	岩倉市川井町鉄砲59	老人福祉施設
介護老人保健施設るどの泉	岩倉市曾野町郷前3番地	老人福祉施設
小規模多機能ホームライフケア岩倉	岩倉市八剣町大塚2番1	老人福祉施設
岩倉小規模多機能ホーム・ちあき	岩倉市中本町中市場2番地1	老人福祉施設
多世代交流センターさくらの家	岩倉市八剣町下池田806番地1	老人福祉施設
南部老人憩の家	岩倉市大地町郷前32	老人福祉施設
団欒の家いわくら	岩倉市東新町南江向24番地5の6	老人福祉施設
エルステージ岩倉	岩倉市下本町丸之内163-1	老人福祉施設
さんえすPLUS	岩倉市八剣町長野1-3 ピアゴ八剣店内	老人福祉施設
住宅型有料老人ホームすずらん岩倉市	岩倉市大市場町郷廻426	老人福祉施設